

【全国版】

18歳人口予測

大学・短期大学・専門学校進学率

地元残留率の動向

【将来予測 2024～2036年】

■ 18歳人口予測 P3～P8

- ・ 2024年106.3万人→2036年94.2万人（12.1万人減少）
- ・ 東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
- ・ 2024年比減少率が高いのは東北（80.4%）、減少数が大きいのは近畿（22,590人減少）

【経過推移 2015年～2024年】

■ 進学率（現役・過年度含）の推移 P9～P22

大学進学率（現役）

- ・ 2015年48.9%→2024年58.4%（9.5ポイント上昇）
- ・ 1位 北海道（134.8）、2位 四国（123.3）、3位 東北（122.3）※注
- ・ 進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率（現役）

- ・ 2015年5.2%→2024年3.1%（2.1ポイント低下）
- ・ 低下が大きいのは、1位 南関東（50.0）、2位 近畿（54.2）、3位 東海（55.6）※注
- ・ 進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北、九州沖縄

専門学校進学率（現役）

- ・ 2015年16.7%→2024年15.4%（1.3ポイント低下）
- ・ 低下が大きいのは、1位 四国（87.3）、2位 南関東（88.2）、3位 近畿（90.5）※注
- ・ 進学率が高いのは、北海道、甲信越、九州沖縄

都道府県別進学率（現役・2024年）

- ・ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は沖縄

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・2015～2024年）

- ・ 2024年現役と過年度含の進学率の差は、大学は0.7ポイント（過年度含が高い）
- ・ 短期大学は差なし。専門学校は8.6ポイント（過年度含が高い）
- ※注）（）内の数値は、2015年を100としたときの2024年の指数

■ 地元残留率の推移 P23～P31

- ・ 大学入学者の地元残留率は、2015年43.6%→2024年44.8%（1.2ポイント上昇）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率は、2015年69.0%→2024年71.9%（2.9ポイント上昇）
- ・ 大学入学者の地元残留率1位は愛知（71.4%）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（94.3%）

■ 18歳人口減少率×地元残留率 P32・33

- ・ 大学入学者：都道府県別：2024→2036年
- ・ 短期大学入学者：都道府県別：2024→2036年

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<https://souken.shingakunet.com/>

分析・データについて

■分析・データについて

データ元：文部科学省「学校基本調査」

- ① 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数 + 「義務教育学校卒業生数」
 - ・ 中学校卒業生数 = 高校生 + フリーター + 就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専修学校専門課程（専門学校））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合。（浪人含）
- ⑥ 図表で利用している百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果で数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下の通り。

北海道：北海道
 東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 北関東：茨城、栃木、群馬
 南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川
 甲信越：新潟、山梨、長野
 北陸：富山、石川、福井
 東海：岐阜、静岡、愛知、三重
 近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口
 四国：徳島、香川、愛媛、高知
 九州沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

【年早見表】

学校基本調査		18歳人口		3年前の中学・中等教育卒業生数
		図表（年）	人数	
確報	学校基本調査公表	2024	1,063,451	（令和3年）2021年 の中学校卒業生 + 中等教育学校前期課程修了者 + 義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2025	1,090,562	（令和4年）2022年 の中学校卒業生 + 中等教育学校前期課程修了者 + 義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2026	1,092,664	（令和5年）2023年 の中学校卒業生 + 中等教育学校前期課程修了者 + 義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2027	1,085,123	（令和6年）2024年 の中学校卒業生 + 中等教育学校前期課程修了者 + 義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2028	1,069,950	（令和6年）2024年 の中学校3年生 + 中等教育学校前期課程3年生 + 義務教育学校9年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2029	1,067,555	（令和6年）2024年 の中学校2年生 + 中等教育学校前期課程2年生 + 義務教育学校8年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2030	1,048,971	（令和6年）2024年 の中学校1年生 + 中等教育学校前期課程1年生 + 義務教育学校7年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2031	1,036,250	（令和6年）2024年 の小学校6年生 + 義務教育学校6年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2032	1,024,561	（令和6年）2024年 の小学校5年生 + 義務教育学校5年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2033	1,014,564	（令和6年）2024年 の小学校4年生 + 義務教育学校4年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2034	1,006,056	（令和6年）2024年 の小学校3年生 + 義務教育学校3年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2035	970,564	（令和6年）2024年 の小学校2年生 + 義務教育学校2年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2036	942,498	（令和6年）2024年 の小学校1年生 + 義務教育学校1年生の生徒数

■ POINT 1 <今後の18歳人口>

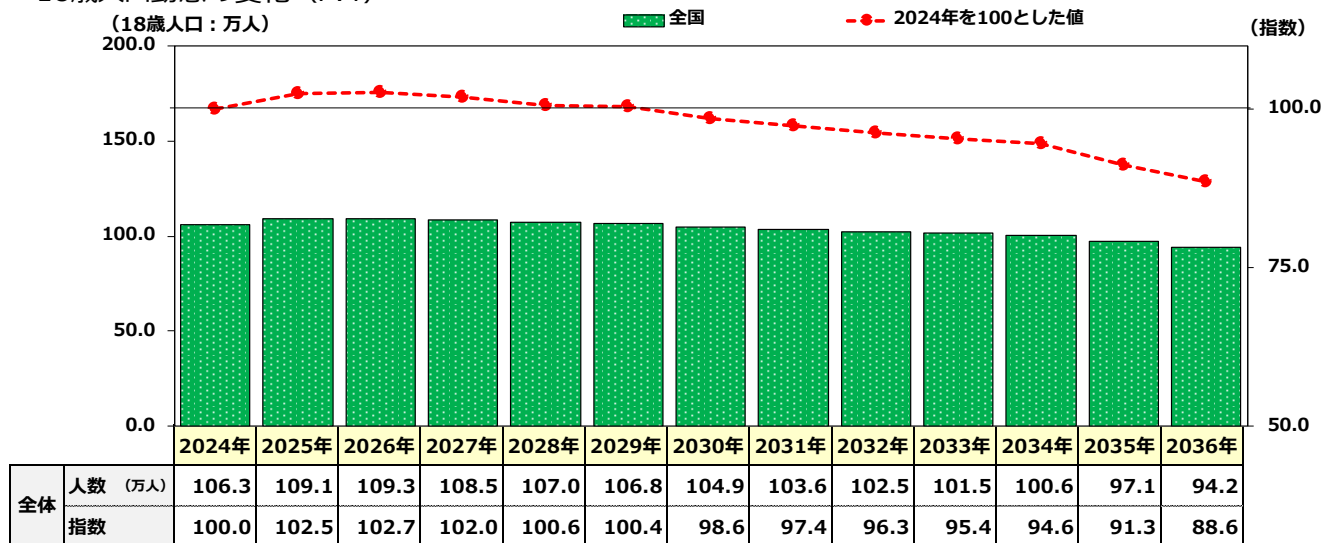
18歳人口は2026年までは増加するが、その後緩やかに減少フェーズへ。人口減少のスピードは地域で大きく異なる。地域の実情に合わせた大学（高等教育）の改革が重要に

2024年の18歳人口は106.3万人でした。25年は109.1万人、26年には109.3万人と少しずつ増加を続けます。それ以降は27年より減少に転じ、徐々に減少をし続けながら2035年には100万人を切ります。

2024年から2036年の18歳人口減少率を見ると全国では11.4%です。県別にみると増加傾向にあるのは、東京、沖縄のみ。減少率が11.4%を下回っている県は東京、沖縄を含めた13都府県のみです。一方で減少率が11.4%を上回っている県は34道府県あり、多くの県はより早いペースで減少していきます。

大学、短大、専門学校にとっては、人口が横ばいの今後5年程度が、将来の人口減少フェーズに向けた改革を進める重要な期間となります。その上で、上記の通り都道府県ごとに状況が違うことを考慮すると、地域の実情に合致した形での改革が必要になってくるでしょう。

■ 18歳人口動態の変化 (P.4)



■ POINT 2 <地元残留率>

2024年の地元残留率は前年度から横ばいだが、上昇は南関東、近畿、北陸のみ、低下に転じた地域もある。コロナ禍の落ち着きにより、大都市圏への流出拡大の可能性。

地元残留率 (P.24) は2020年より22年までコロナの影響もあり全国の値を見ると上昇しており、2022年から24年までは横ばいとなっています。しかし、今年は少し変化が見られます。

コロナ以前の2019年と比較すると全国の値が高いことには変わりはありませんが、北海道、北関東、中国、四国、九州沖縄と、多くの地域で若干の残留率低下がみられます。2023年にコロナが5類に移行した影響がありそうです。こうしたことから2025年以降は、さらに地方から都市への地域間移動が増加する可能性が考えられます。

また、今年はZEN大学など通信制の大学の新設もあり、通学だけではない選択肢が広がっていることも注目する必要があります。従来のような都市圏vs地方圏といった単純な構図ではなくなっており、多角的に学生募集を考えていく必要があります。



リクルート 進学総研所長
カレッジマネジメント編集長
小林 浩

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（男女別：全国：2024～2036年）

■男女ともに13年間で約11%の減少

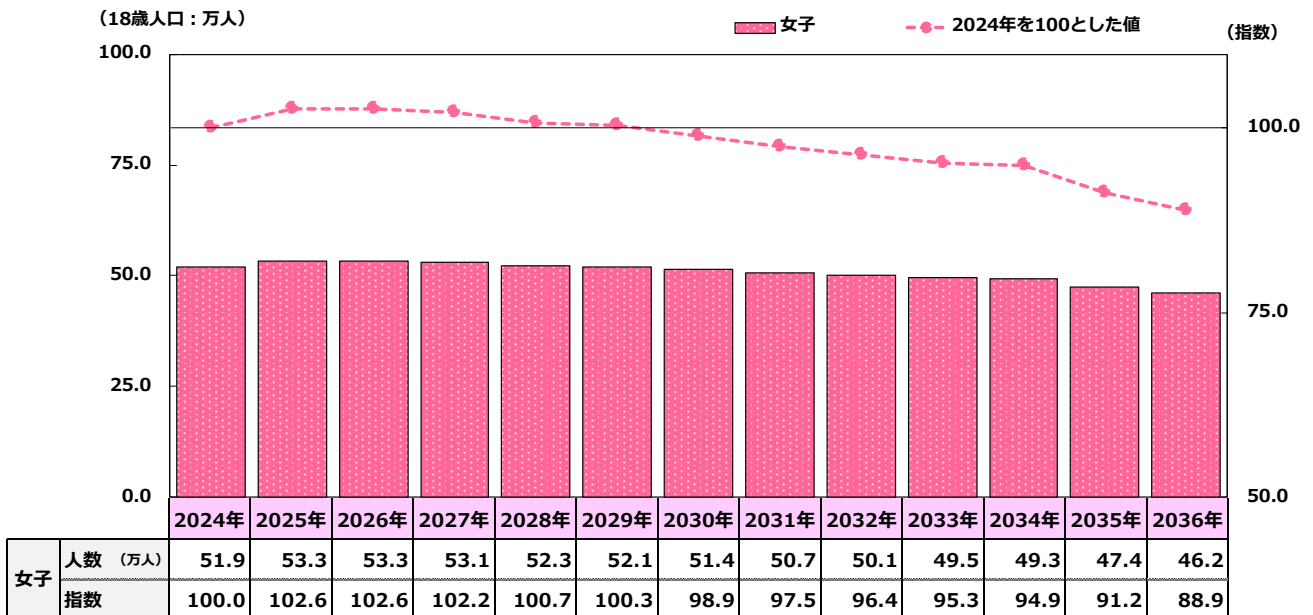
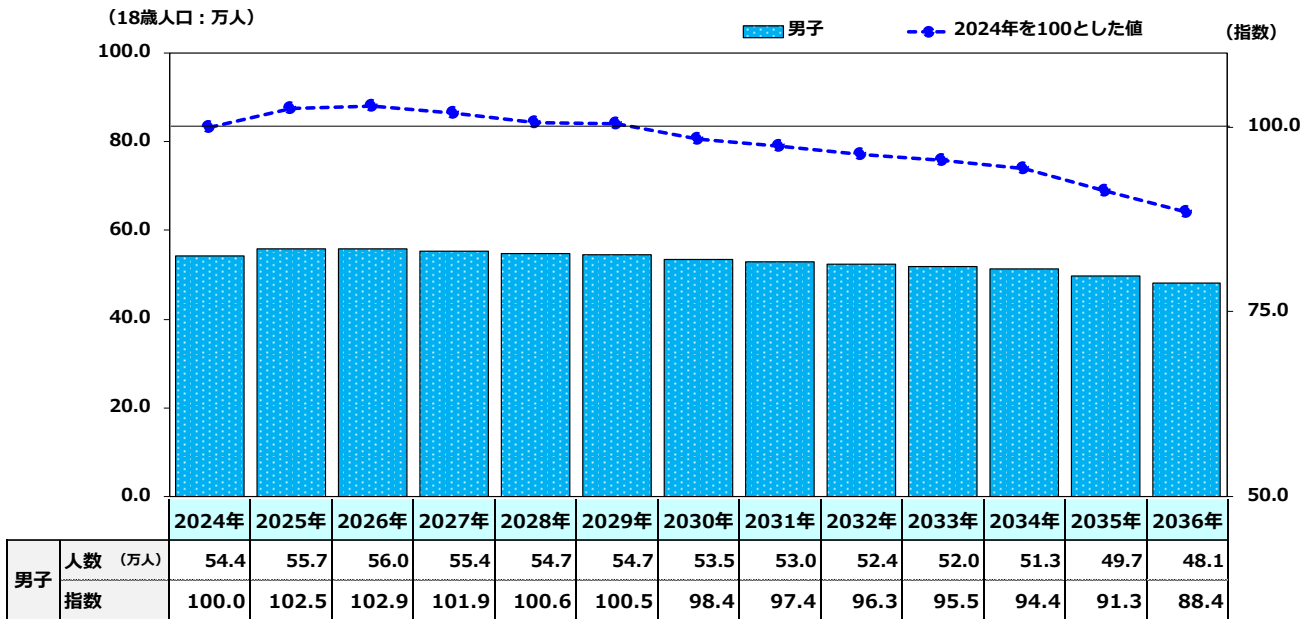
減少のスピード・時期は男女差がほとんどない。

男子

- ・2024年54.4万人から2036年48.1万人、13年間で6.3万人減少。
- ・2025年、2026年で増加に転じるが、2027年から再び減少傾向となり2036年までに7.3万人減少している。

女子

- ・2024年51.9万人から2036年46.2万人、13年間で5.7万人減少。
- ・男子と同様2025年増加に転じ、2027年までほぼ横ばいが続くが、2028年から2036年にかけて6.1万人減少している。

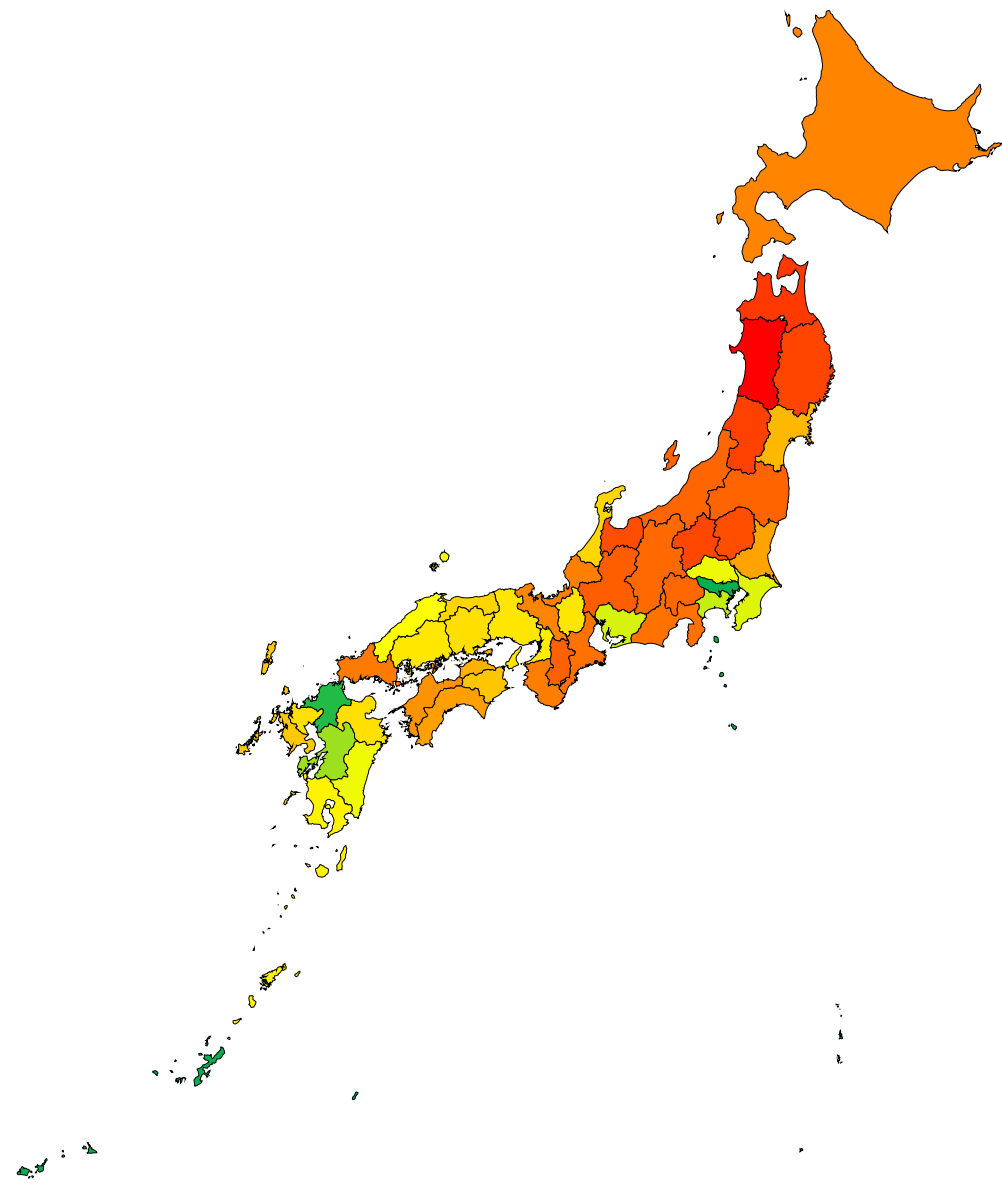
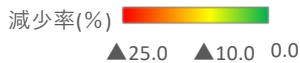


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（全体：都道府県別：2024～2036年）

■東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
東京・沖縄の2都県のみ増加する見込み

		単位 (%)
全国		▲11.4
-20.0以下	秋田	▲28.5
	青森	▲21.7
	山形	▲21.2
	岩手	▲21.0
	群馬	▲20.8
	栃木	▲20.4
富山	▲20.4	
-15.0以下	岐阜	▲19.5
	奈良	▲19.4
	福島	▲19.1
	新潟	▲19.1
	山梨	▲18.9
	長野	▲18.8
	三重	▲18.3
	静岡	▲18.3
	山口	▲17.8
	和歌山	▲17.7
	福井	▲17.5
	京都	▲17.3
	北海道	▲17.2
	愛媛	▲16.4
高知	▲15.7	
茨城	▲15.4	
-10.0以下	香川	▲14.6
	宮城	▲14.2
	徳島	▲13.4
	長崎	▲13.3
	鳥取	▲12.5
	石川	▲12.4
	岡山	▲11.9
	大分	▲11.9
	佐賀	▲11.8
	兵庫	▲11.5
	滋賀	▲11.5
	広島	▲11.4
	大阪	▲11.1
鹿児島	▲10.7	
- 5.0以下	島根	▲ 9.9
	宮崎	▲ 9.4
	埼玉	▲ 9.3
	千葉	▲ 8.7
	愛知	▲ 8.4
	神奈川	▲ 7.7
	熊本	▲ 6.1
0.0以下	福岡	▲ 1.3
0.0超	東京	0.5
	沖縄	1.9



提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

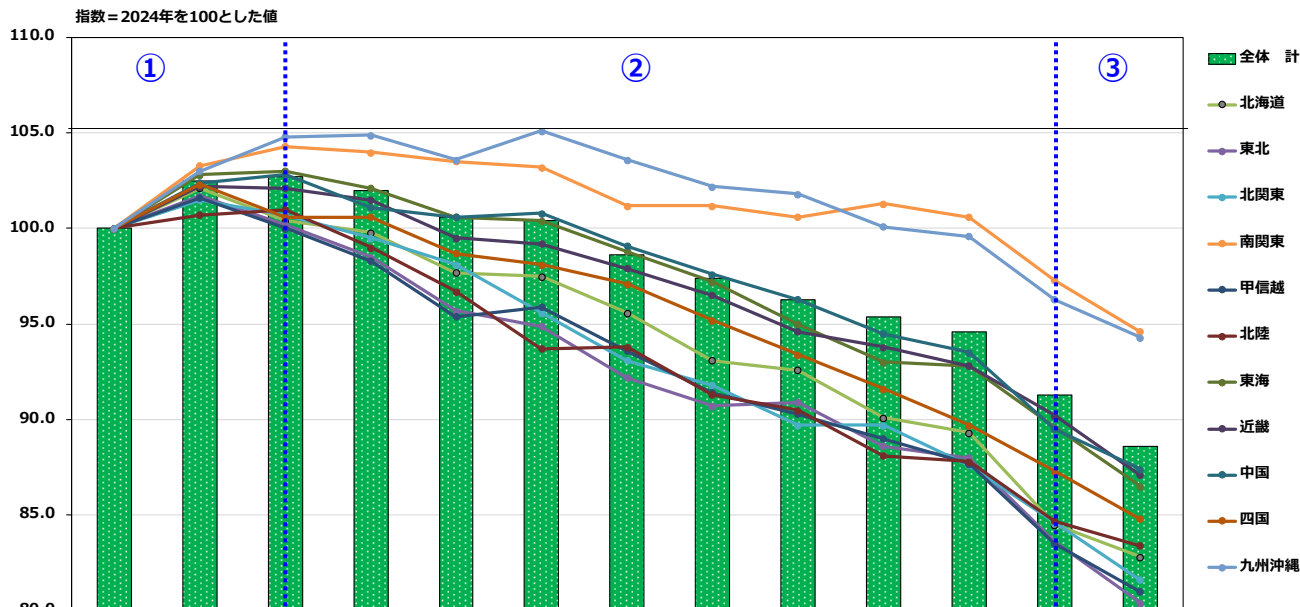
18歳人口予測（全体：エリア別：2024～2036年）

■ 減少率が高いのは東北（2024年比80.4%）、減少数が大きいのは近畿（22,590人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2024年比80.4%）、2位 甲信越（81.0%）、3位 北関東（81.6%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 近畿（22,590人減）、2位 東海（17,966人減）、3位 南関東（15,394人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（94.6%）、2位 九州沖縄（94.3%）、3位 中国（87.4%）。
- ・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。

- ① 2024～2026年：全国で約3万人増加、人口が回復し、横ばいが続く時期
- ② 2027～2034年：回復後さらに減少する時期
- ③ 2035～2036年：さらに大きく減少する時期

注) 減少率 = 2036年人数 ÷ 2024年人数で算出。



		2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年
全体 計	人数	1,063,451	1,090,562	1,092,664	1,085,123	1,069,950	1,067,555	1,048,971	1,036,250	1,024,561	1,014,564	1,006,056	970,564	942,498
	指数	100.0	102.5	102.7	102.0	100.6	100.4	98.6	97.4	96.3	95.4	94.6	91.3	88.6
北海道	人数	41,008	41,857	41,168	40,934	40,072	39,977	39,214	38,186	37,958	36,930	36,614	34,643	33,972
	指数	100.0	102.1	100.4	99.8	97.7	97.5	95.6	93.1	92.6	90.1	89.3	84.5	82.8
東北	人数	71,820	73,013	71,988	70,770	68,749	68,171	66,203	65,111	65,300	63,666	63,223	60,068	57,718
	指数	100.0	101.7	100.2	98.5	95.7	94.9	92.2	90.7	90.9	88.6	88.0	83.6	80.4
北関東	人数	59,826	60,700	60,222	59,546	58,692	57,205	55,683	54,945	53,664	53,679	52,394	50,638	48,791
	指数	100.0	101.5	100.7	99.5	98.1	95.6	93.1	91.8	89.7	89.7	87.6	84.6	81.6
南関東	人数	287,188	296,737	299,464	298,541	297,098	296,291	290,653	290,558	288,993	290,872	288,975	279,425	271,794
	指数	100.0	103.3	104.3	104.0	103.5	103.2	101.2	101.2	100.6	101.3	100.6	97.3	94.6
甲信越	人数	44,069	44,788	44,081	43,314	42,040	42,270	41,257	40,296	39,776	39,217	38,644	36,808	35,717
	指数	100.0	101.6	100.0	98.3	95.4	95.9	93.6	91.4	90.3	89.0	87.7	83.5	81.0
北陸	人数	26,002	26,197	26,261	25,741	25,150	24,353	24,393	23,739	23,536	22,900	22,817	22,026	21,691
	指数	100.0	100.7	101.0	99.0	96.7	93.7	93.8	91.3	90.5	88.1	87.8	84.7	83.4
東海	人数	133,555	137,302	137,611	136,301	134,386	134,104	132,009	129,840	126,934	124,199	124,004	119,662	115,589
	指数	100.0	102.8	103.0	102.1	100.6	100.4	98.8	97.2	95.0	93.0	92.8	89.6	86.5
近畿	人数	175,609	179,388	179,292	178,296	174,708	174,275	171,986	169,443	166,153	164,654	162,897	158,390	153,019
	指数	100.0	102.2	102.1	101.5	99.5	99.2	97.9	96.5	94.6	93.8	92.8	90.2	87.1
中国	人数	63,279	64,828	65,050	63,998	63,653	63,788	62,726	61,732	60,960	59,813	59,177	56,629	55,286
	指数	100.0	102.4	102.8	101.1	100.6	100.8	99.1	97.6	96.3	94.5	93.5	89.5	87.4
四国	人数	31,419	32,132	31,612	31,605	31,022	30,821	30,502	29,912	29,341	28,774	28,198	27,440	26,639
	指数	100.0	102.3	100.6	100.6	98.7	98.1	97.1	95.2	93.4	91.6	89.7	87.3	84.8
九州沖縄	人数	129,676	133,620	135,915	136,077	134,380	136,300	134,345	132,488	131,946	129,860	129,113	124,835	122,282
	指数	100.0	103.0	104.8	104.9	103.6	105.1	103.6	102.2	101.8	100.1	99.6	96.3	94.3

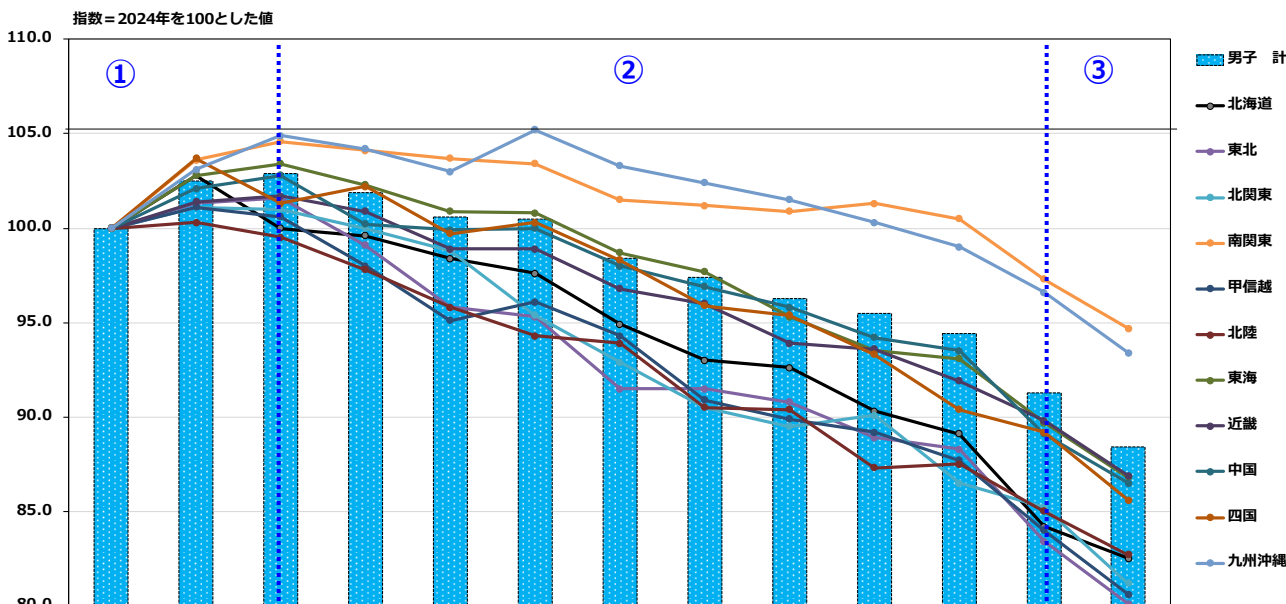
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（男子：エリア別：2024～2036年）

■ 減少率が高いのは東北（2024年比80.1%）、減少数が大きいのは近畿（11,772人減）

- ・ 減少率が高いのは、1位 東北（2024年比80.1%）、2位 甲信越（80.6%）、3位 北関東（81.2%）。
- ・ 減少数が大きいのは、1位 近畿（11,772人減）、2位 東海（9,034人減）、3位 南関東（7,779人減）。
- ・ 減少率が低いのは、1位 南関東（94.7%）、2位 九州沖縄（93.4%）、3位 近畿（86.9%）。
- ・ ②③期において2027～2036年の男子人口は、北海道（3,584人減）、東北（6,931人減）、北関東（5,761人減）、南関東（13,799人減）、甲信越（3,917人減）、北陸（2,019人減）、東海（10,577人減）、近畿（12,555人減）、中国（4,468人減）、四国（2,638人減）、九州沖縄（7,197人減）。

注) 減少率 = 2036年人数 ÷ 2024年人数で算出。



		2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年
男子 計	人数	543,958	557,468	559,837	554,334	547,052	546,679	535,244	529,680	523,779	519,614	513,308	496,664	480,888
	指数	100.0	102.5	102.9	101.9	100.6	100.5	98.4	97.4	96.3	95.5	94.4	91.3	88.4
北海道	人数	20,967	21,552	20,967	20,875	20,633	20,462	19,905	19,493	19,416	18,924	18,681	17,661	17,291
	指数	100.0	102.8	100.0	99.6	98.4	97.6	94.9	93.0	92.6	90.3	89.1	84.2	82.5
東北	人数	36,608	37,070	37,194	36,261	35,086	34,897	33,514	33,498	33,248	32,549	32,338	30,543	29,330
	指数	100.0	101.3	101.6	99.1	95.8	95.3	91.5	91.5	90.8	88.9	88.3	83.4	80.1
北関東	人数	30,693	31,034	30,998	30,684	30,311	29,282	28,523	27,768	27,462	27,651	26,537	26,154	24,923
	指数	100.0	101.1	101.0	100.0	98.8	95.4	92.9	90.5	89.5	90.1	86.5	85.2	81.2
南関東	人数	146,623	151,953	153,331	152,643	152,024	151,557	148,877	148,393	147,963	148,587	147,423	142,612	138,844
	指数	100.0	103.6	104.6	104.1	103.7	103.4	101.5	101.2	100.9	101.3	100.5	97.3	94.7
甲信越	人数	22,536	22,792	22,675	22,088	21,432	21,650	21,261	20,488	20,251	20,097	19,775	18,929	18,171
	指数	100.0	101.1	100.6	98.0	95.1	96.1	94.3	90.9	89.9	89.2	87.7	84.0	80.6
北陸	人数	13,369	13,405	13,301	13,081	12,811	12,612	12,557	12,094	12,084	11,669	11,703	11,365	11,062
	指数	100.0	100.3	99.5	97.8	95.8	94.3	93.9	90.5	90.4	87.3	87.5	85.0	82.7
東海	人数	68,190	70,079	70,515	69,733	68,819	68,754	67,293	66,623	64,985	63,751	63,453	61,179	59,156
	指数	100.0	102.8	103.4	102.3	100.9	100.8	98.7	97.7	95.3	93.5	93.1	89.7	86.8
近畿	人数	90,181	91,481	91,686	90,964	89,231	89,148	87,263	86,559	84,688	84,380	82,898	80,969	78,409
	指数	100.0	101.4	101.7	100.9	98.9	98.9	96.8	96.0	93.9	93.6	91.9	89.8	86.9
中国	人数	32,549	33,220	33,476	32,613	32,513	32,562	31,893	31,551	31,184	30,645	30,439	28,985	28,145
	指数	100.0	102.1	102.8	100.2	99.9	100.0	98.0	96.9	95.8	94.2	93.5	89.1	86.5
四国	人数	15,870	16,454	16,081	16,217	15,826	15,923	15,600	15,219	15,145	14,814	14,351	14,154	13,579
	指数	100.0	103.7	101.3	102.2	99.7	100.3	98.3	95.9	95.4	93.3	90.4	89.2	85.6
九州沖縄	人数	66,372	68,428	69,613	69,175	68,366	69,832	68,558	67,994	67,353	66,547	65,710	64,113	61,978
	指数	100.0	103.1	104.9	104.2	103.0	105.2	103.3	102.4	101.5	100.3	99.0	96.6	93.4

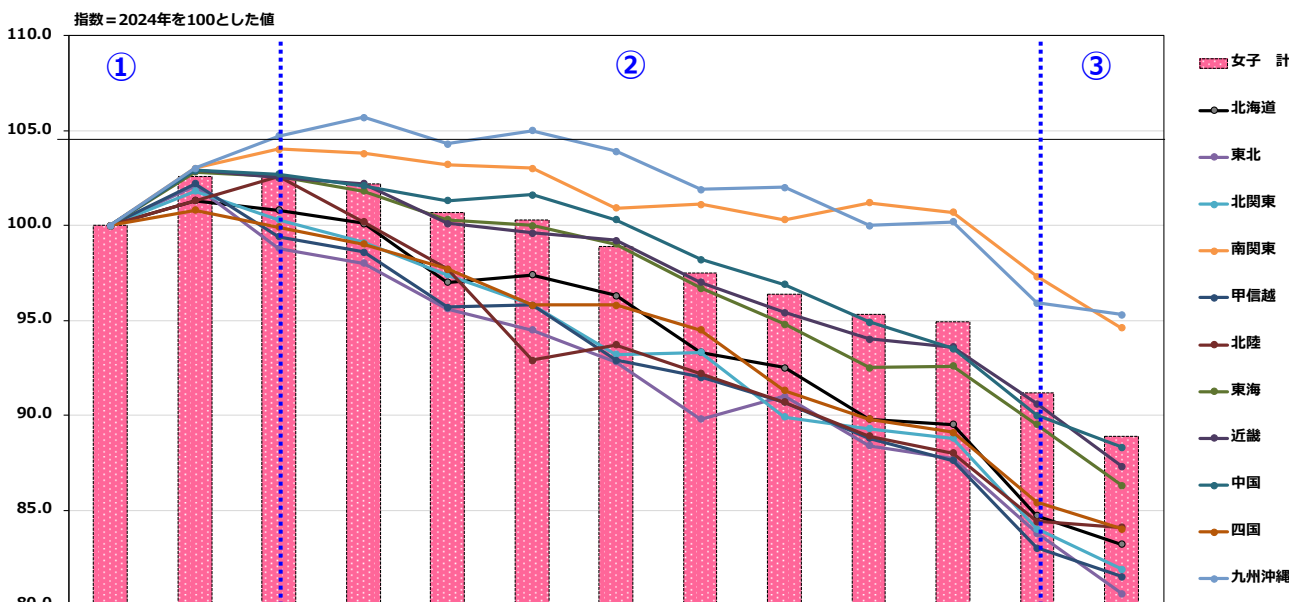
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（女子：エリア別：2024～2036年）

■減少率が高いのは東北（2024年比80.6%）、減少数が大きいのは近畿（10,818人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2024年比80.6%）、2位 甲信越（81.5%）、3位 北関東（81.9%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 近畿（10,818人減）、2位 東海（8,932人減）、3位 南関東（7,615人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 九州沖縄（95.3%）、2位 南関東（94.6%）、3位 中国（88.3%）。
- ・②③期において2027年～2036年の女子人口は、北海道（3,378人減）、東北（6,121人減）、北関東（4,994人減）、南関東（12,948人減）、甲信越（3,680人減）、北陸（2,031人減）、東海（10,135人減）、近畿（12,722人減）、中国（4,244人減）、四国（2,328人減）、九州沖縄（6,598人減）。

注）減少率=2036年人数÷2024年人数で算出。



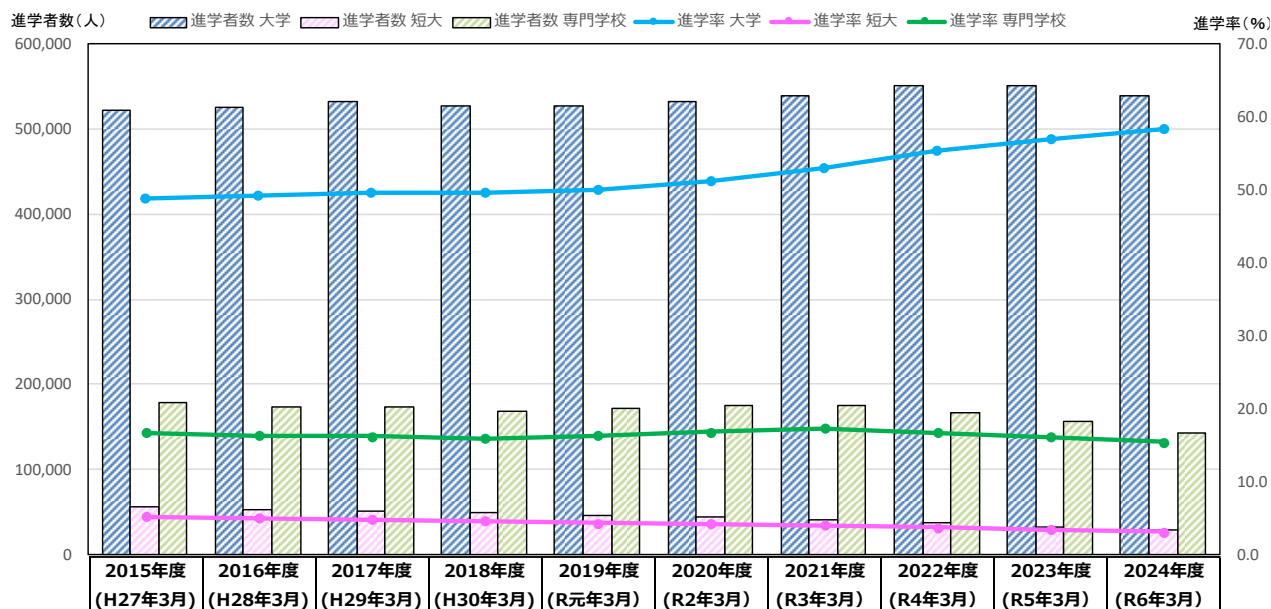
		2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年
女子 計	人数	519,493	533,094	532,827	530,789	522,898	520,876	513,727	506,570	500,782	494,950	492,748	473,900	461,610
	指数	100.0	102.6	102.6	102.2	100.7	100.3	98.9	97.5	96.4	95.3	94.9	91.2	88.9
北海道	人数	20,041	20,305	20,201	20,059	19,439	19,515	19,309	18,693	18,542	18,006	17,933	16,982	16,681
	指数	100.0	101.3	100.8	100.1	97.0	97.4	96.3	93.3	92.5	89.8	89.5	84.7	83.2
東北	人数	35,212	35,943	34,794	34,509	33,663	33,274	32,689	31,613	32,052	31,117	30,885	29,525	28,388
	指数	100.0	102.1	98.8	98.0	95.6	94.5	92.8	89.8	91.0	88.4	87.7	83.8	80.6
北関東	人数	29,133	29,666	29,224	28,862	28,381	27,923	27,160	27,177	26,202	26,028	25,857	24,484	23,868
	指数	100.0	101.8	100.3	99.1	97.4	95.8	93.2	93.3	89.9	89.3	88.8	84.0	81.9
南関東	人数	140,565	144,784	146,133	145,898	145,074	144,734	141,776	142,165	141,030	142,285	141,552	136,813	132,950
	指数	100.0	103.0	104.0	103.8	103.2	103.0	100.9	101.1	100.3	101.2	100.7	97.3	94.6
甲信越	人数	21,533	21,996	21,406	21,226	20,608	20,620	19,996	19,808	19,525	19,120	18,869	17,879	17,546
	指数	100.0	102.2	99.4	98.6	95.7	95.8	92.9	92.0	90.7	88.8	87.6	83.0	81.5
北陸	人数	12,633	12,792	12,960	12,660	12,339	11,741	11,836	11,645	11,452	11,231	11,114	10,661	10,629
	指数	100.0	101.3	102.6	100.2	97.7	92.9	93.7	92.2	90.7	88.9	88.0	84.4	84.1
東海	人数	65,365	67,223	67,096	66,568	65,567	65,350	64,716	63,217	61,949	60,448	60,551	58,483	56,433
	指数	100.0	102.8	102.6	101.8	100.3	100.0	99.0	96.7	94.8	92.5	92.6	89.5	86.3
近畿	人数	85,428	87,907	87,606	87,332	85,477	85,127	84,723	82,884	81,465	80,274	79,999	77,421	74,610
	指数	100.0	102.9	102.5	102.2	100.1	99.6	99.2	97.0	95.4	94.0	93.6	90.6	87.3
中国	人数	30,730	31,608	31,574	31,385	31,140	31,226	30,833	30,181	29,776	29,168	28,738	27,644	27,141
	指数	100.0	102.9	102.7	102.1	101.3	101.6	100.3	98.2	96.9	94.9	93.5	90.0	88.3
四国	人数	15,549	15,678	15,531	15,388	15,196	14,898	14,902	14,693	14,196	13,960	13,847	13,286	13,060
	指数	100.0	100.8	99.9	99.0	97.7	95.8	95.8	94.5	91.3	89.8	89.1	85.4	84.0
九州沖縄	人数	63,304	65,192	66,302	66,902	66,014	66,468	65,787	64,494	64,593	63,313	63,403	60,722	60,304
	指数	100.0	103.0	104.7	105.7	104.3	105.0	103.9	101.9	102.0	100.0	100.2	95.9	95.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

高校卒業生数と進学率の推移

■大学進学率は引き続き上昇傾向。ただし、進学者数は2022年度をピークに減少

- ・大学進学率は2015年（48.9%）→2024年58.4%と、10年間で9.5ポイント上昇したが、高校卒業生数の減少が続いているため、大学進学者数は2022年（550,559人）をピークに減少に転じ、2024年は539,813人。
 - ・短大進学率は徐々に低下しており、2015年（5.2%）から2.1ポイント低下。
 - ・専門学校進学率は2015年（16.7%）から1.3ポイントの微減にとどまり、2024年は15.4%。
- ただし、大学と同様に高校卒業生数自体が減少しているため、専門学校進学者数は徐々に減少しており、2024年は15万人を下回っている。



年度	2015年度 (H27年3月)	2016年度 (H28年3月)	2017年度 (H29年3月)	2018年度 (H30年3月)	2019年度 (R元年3月)	2020年度 (R2年3月)	2021年度 (R3年3月)	2022年度 (R4年3月)	2023年度 (R5年3月)	2024年度 (R6年3月)
高校卒業生数	1,068,989	1,064,352	1,074,655	1,061,565	1,055,807	1,042,549	1,017,097	995,109	966,957	923,800
進学者数										
大学	522,656	525,195	532,558	527,996	527,457	533,140	538,427	550,559	550,489	539,813
短大	55,689	53,361	51,486	48,768	45,879	44,267	41,023	37,302	32,992	28,305
専門学校	178,069	173,629	173,939	169,058	172,339	175,096	175,463	166,075	156,126	142,637
進学率										
大学	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9	55.3	56.9	58.4
短大	5.2	5.0	4.8	4.6	4.3	4.2	4.0	3.7	3.4	3.1
専門学校	16.7	16.3	16.2	15.9	16.3	16.8	17.3	16.7	16.1	15.4

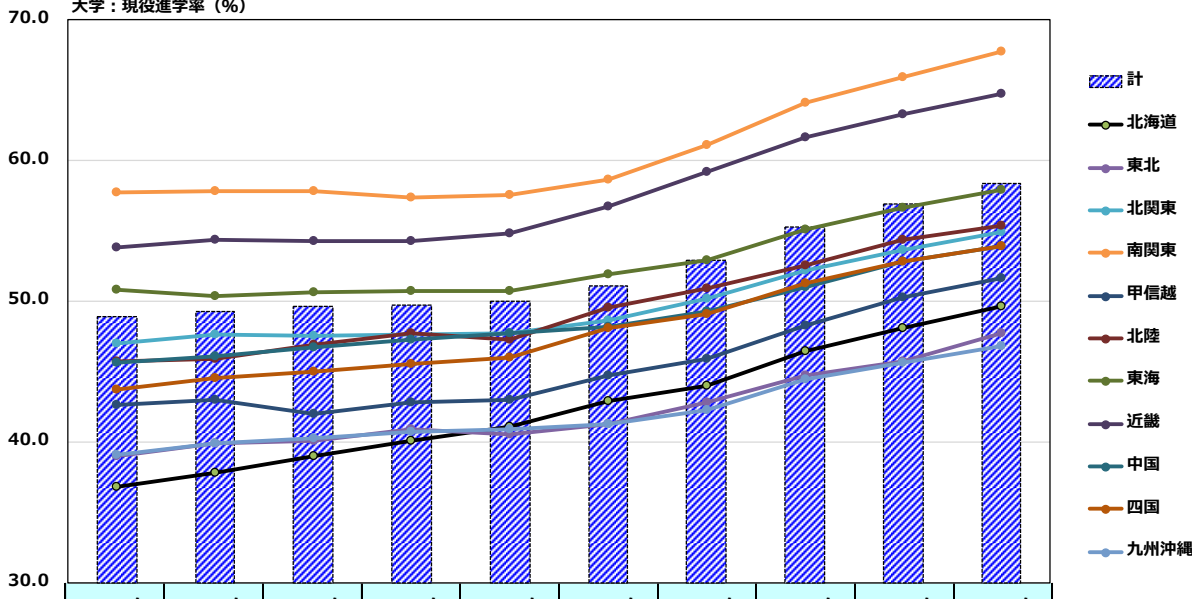
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学進学率の推移（現役：エリア別：2015～2024年）

■2015年48.9%→2024年58.4%（9.5ポイント上昇）

- ・全国の大学進学率は2015年48.9%→2024年58.4%と、10年間で9.5ポイント上昇。
- ・2019年から50%台の進学率となり、2022年には55%を超えた。
- ・2015年～2019年（48.9%→50.0%）の5年間に対して、2020年～2024年（51.1%→58.4%）の5年間の進学率が伸びている。
- ・上昇が大きいのは、1位 北海道（134.8）、2位 四国（123.3）、3位 東北（122.3）。※注
- ・上昇が小さいのは、1位 東海（114.0）、2位 北関東（116.8）、3位 南関東（117.3）。※注
- ・2024年進学率が高いのは、1位 南関東（67.7%）、2位 近畿（64.7%）、3位 東海（57.9%）。

※注（）内は指数=2015年を100として算出
 大学：現役進学率（%）



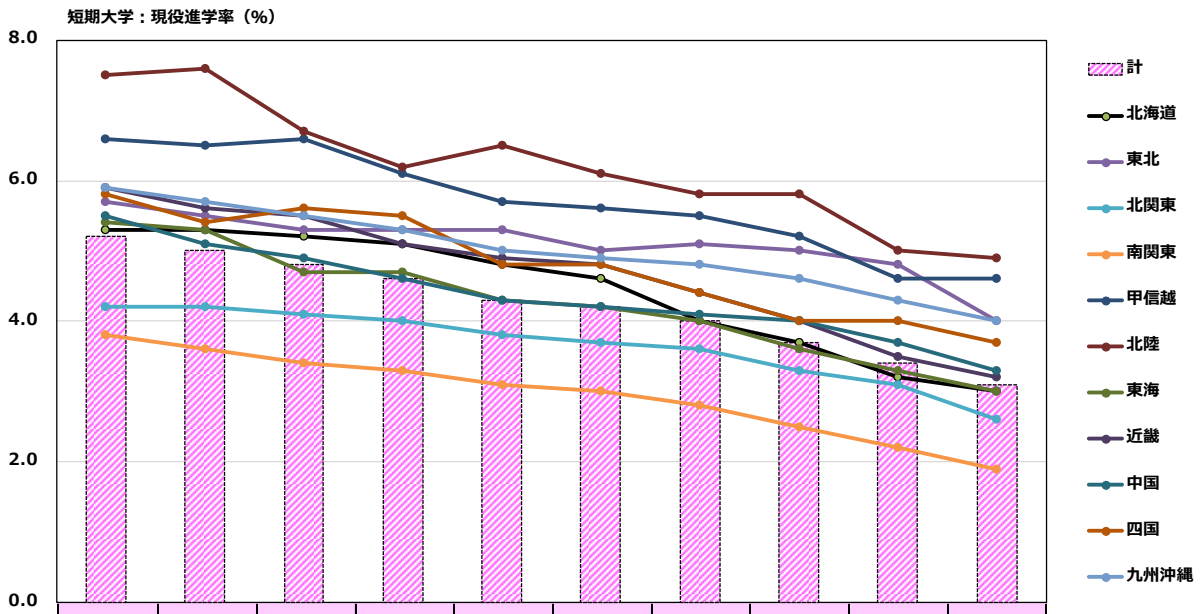
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
計	進学率	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9	55.3	56.9	58.4
	指数	100.0	100.8	101.4	101.6	102.2	104.5	108.2	113.1	116.4	119.4
北海道	進学率	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9	44.0	46.4	48.1	49.6
	指数	100.0	102.7	106.0	109.0	111.7	116.6	119.6	126.1	130.7	134.8
東北	進学率	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3	42.8	44.7	45.7	47.7
	指数	100.0	102.3	102.8	104.9	103.8	105.9	109.7	114.6	117.2	122.3
北関東	進学率	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6	50.2	52.2	53.6	54.9
	指数	100.0	101.3	101.1	101.3	101.5	103.4	106.8	111.1	114.0	116.8
南関東	進学率	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6	61.1	64.1	65.9	67.7
	指数	100.0	100.2	100.2	99.5	99.7	101.6	105.9	111.1	114.2	117.3
甲信越	進学率	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7	45.9	48.3	50.3	51.6
	指数	100.0	100.9	98.6	100.5	100.9	104.9	107.7	113.4	118.1	121.1
北陸	進学率	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5	50.9	52.5	54.4	55.4
	指数	100.0	100.4	102.6	104.4	103.5	108.3	111.4	114.9	119.0	121.2
東海	進学率	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9	52.9	55.1	56.6	57.9
	指数	100.0	99.2	99.6	99.8	99.8	102.2	104.1	108.5	111.4	114.0
近畿	進学率	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7	59.2	61.6	63.3	64.7
	指数	100.0	101.1	100.9	100.9	101.9	105.4	110.0	114.5	117.7	120.3
中国	進学率	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2	49.3	51.0	52.8	53.9
	指数	100.0	101.1	102.4	103.7	104.6	105.7	108.1	111.8	115.8	118.2
四国	進学率	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1	49.1	51.3	52.8	53.9
	指数	100.0	101.8	103.0	104.1	105.3	110.1	112.4	117.4	120.8	123.3
九州沖縄	進学率	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3	44.4	45.6	46.8
	指数	100.0	102.0	103.1	104.1	104.6	105.6	108.2	113.6	116.6	119.7

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

短期大学進学率の推移（現役：エリア別：2015～2024年）

■ 2015年5.2%→2024年3.1%（2.1ポイント低下）

- ・ 全国の短期大学進学率は2015年5.2%→2024年3.1%と、10年間で2.1ポイント低下。
 - ・ 低下が大きいのは、1位 南関東（50.0）、2位 近畿（54.2）、3位 東海（55.6）。※注
 - ・ 低下が小さいのは、1位 東北（70.2）、2位 甲信越（69.7）、3位 九州沖縄（67.8）。※注
 - ・ 2024年進学率が高いのは、1位 北陸（4.9%）、2位 甲信越（4.6%）、3位 東北・九州沖縄（4.0%）。
- ※注（）内は指数=2015年を100として算出



		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
計	進学率	5.2	5.0	4.8	4.6	4.3	4.2	4.0	3.7	3.4	3.1
	指数	100.0	96.2	92.3	88.5	82.7	80.8	76.9	71.2	65.4	59.6
北海道	進学率	5.3	5.3	5.2	5.1	4.8	4.6	4.0	3.7	3.2	3.0
	指数	100.0	100.0	98.1	96.2	90.6	86.8	75.5	69.8	60.4	56.6
東北	進学率	5.7	5.5	5.3	5.3	5.3	5.0	5.1	5.0	4.8	4.0
	指数	100.0	96.5	93.0	93.0	93.0	87.7	89.5	87.7	84.2	70.2
北関東	進学率	4.2	4.2	4.1	4.0	3.8	3.7	3.6	3.3	3.1	2.6
	指数	100.0	100.0	97.6	95.2	90.5	88.1	85.7	78.6	73.8	61.9
南関東	進学率	3.8	3.6	3.4	3.3	3.1	3.0	2.8	2.5	2.2	1.9
	指数	100.0	94.7	89.5	86.8	81.6	78.9	73.7	65.8	57.9	50.0
甲信越	進学率	6.6	6.5	6.6	6.1	5.7	5.6	5.5	5.2	4.6	4.6
	指数	100.0	98.5	100.0	92.4	86.4	84.8	83.3	78.8	69.7	69.7
北陸	進学率	7.5	7.6	6.7	6.2	6.5	6.1	5.8	5.8	5.0	4.9
	指数	100.0	101.3	89.3	82.7	86.7	81.3	77.3	77.3	66.7	65.3
東海	進学率	5.4	5.3	4.7	4.7	4.3	4.2	4.0	3.6	3.3	3.0
	指数	100.0	98.1	87.0	87.0	79.6	77.8	74.1	66.7	61.1	55.6
近畿	進学率	5.9	5.6	5.5	5.1	4.9	4.8	4.4	4.0	3.5	3.2
	指数	100.0	94.9	93.2	86.4	83.1	81.4	74.6	67.8	59.3	54.2
中国	進学率	5.5	5.1	4.9	4.6	4.3	4.2	4.1	4.0	3.7	3.3
	指数	100.0	92.7	89.1	83.6	78.2	76.4	74.5	72.7	67.3	60.0
四国	進学率	5.8	5.4	5.6	5.5	4.8	4.8	4.4	4.0	4.0	3.7
	指数	100.0	93.1	96.6	94.8	82.8	82.8	75.9	69.0	69.0	63.8
九州沖縄	進学率	5.9	5.7	5.5	5.3	5.0	4.9	4.8	4.6	4.3	4.0
	指数	100.0	96.6	93.2	89.8	84.7	83.1	81.4	78.0	72.9	67.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

専門学校進学率の推移（現役：エリア別：2015～2024年）

■ 2015年16.7%→2024年15.4%（1.3ポイント低下）

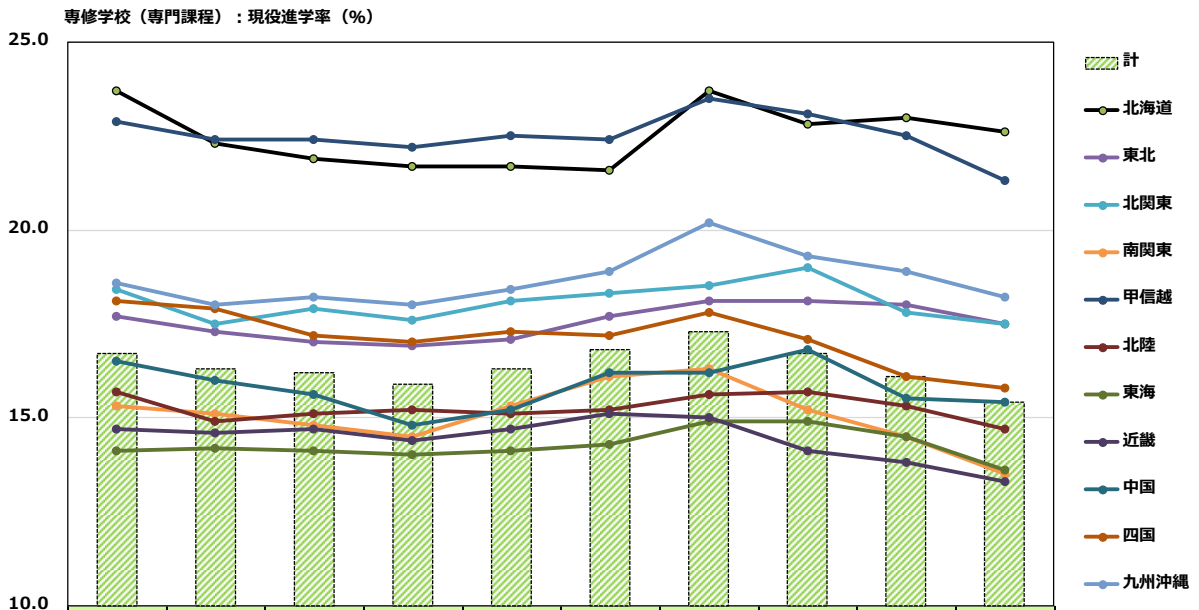
・ 全国の専門学校進学率は2015年16.7%→2024年15.4%と、10年間で1.3ポイント低下。
 上昇、低下を繰り返し、ほぼ横ばい。

・ 低下が小さいのは、1位 東北（98.9）、2位 九州沖縄（97.8）、3位 東海（96.5）。※注

・ 低下が大きいのは、1位 四国（87.3）、2位 南関東（88.2）、3位 近畿（90.5）。※注

・ 2024年進学率が高いのは、1位 北海道（22.6%）、2位 甲信越（21.3%）、3位 九州沖縄（18.2%）。

※注（）内は指数=2015年を100として算出



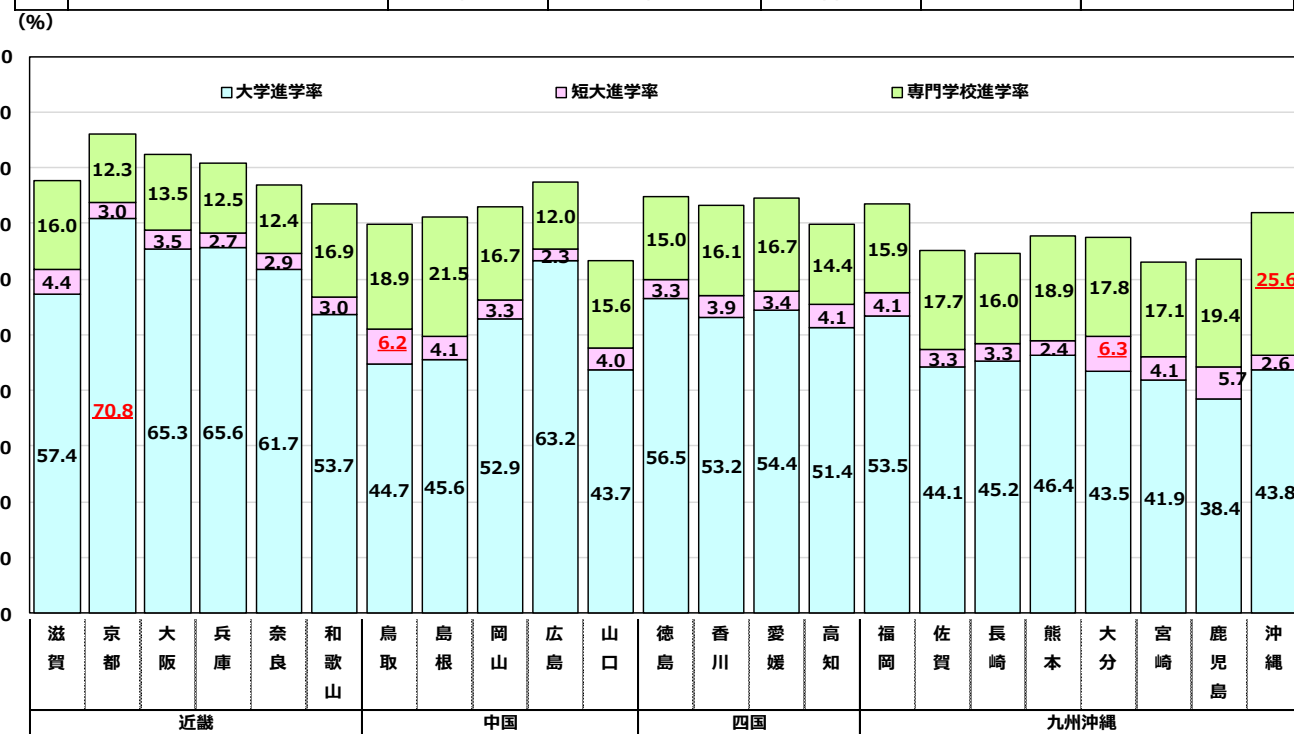
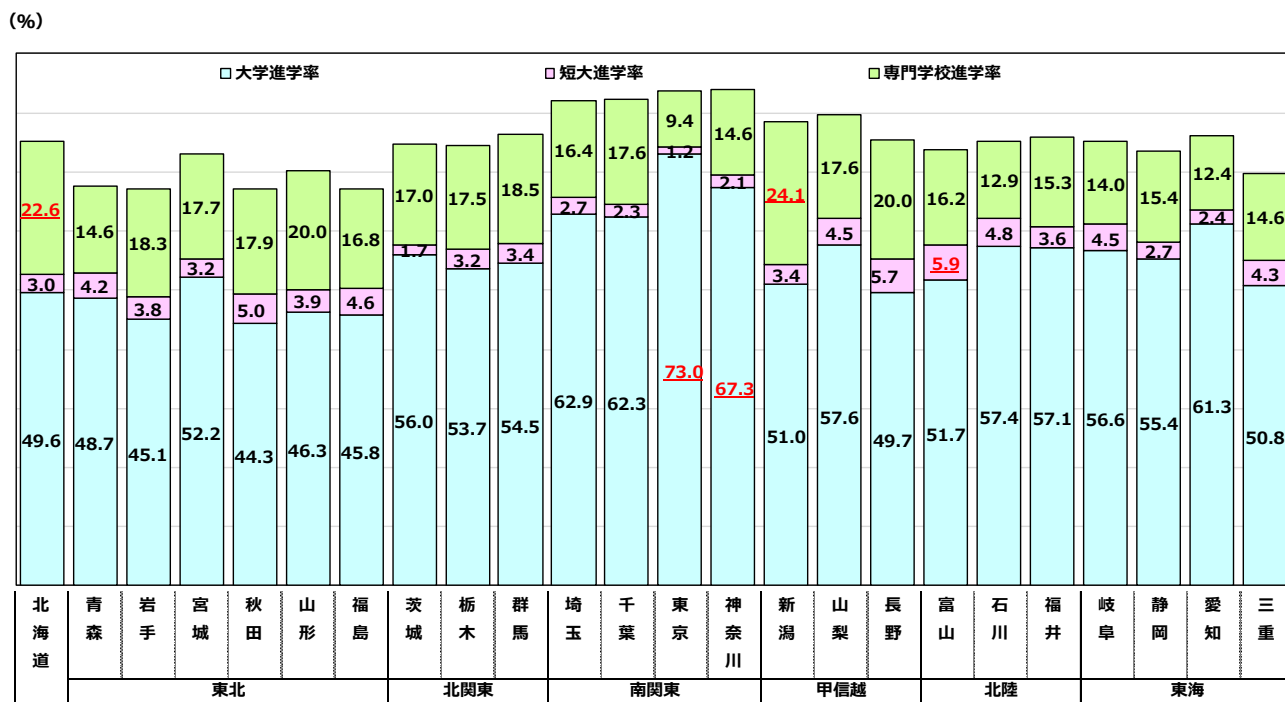
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
計	進学率	16.7	16.3	16.2	15.9	16.3	16.8	17.3	16.7	16.1	15.4
	指数	100.0	97.6	97.0	95.2	97.6	100.6	103.6	100.0	96.4	92.2
北海道	進学率	23.7	22.3	21.9	21.7	21.7	21.6	23.7	22.8	23.0	22.6
	指数	100.0	94.1	92.4	91.6	91.6	91.1	100.0	96.2	97.0	95.4
東北	進学率	17.7	17.3	17.0	16.9	17.1	17.7	18.1	18.1	18.0	17.5
	指数	100.0	97.7	96.0	95.5	96.6	100.0	102.3	102.3	101.7	98.9
北関東	進学率	18.4	17.5	17.9	17.6	18.1	18.3	18.5	19.0	17.8	17.5
	指数	100.0	95.1	97.3	95.7	98.4	99.5	100.5	103.3	96.7	95.1
南関東	進学率	15.3	15.1	14.8	14.5	15.3	16.1	16.3	15.2	14.5	13.5
	指数	100.0	98.7	96.7	94.8	100.0	105.2	106.5	99.3	94.8	88.2
甲信越	進学率	22.9	22.4	22.4	22.2	22.5	22.4	23.5	23.1	22.5	21.3
	指数	100.0	97.8	97.8	96.9	98.3	97.8	102.6	100.9	98.3	93.0
北陸	進学率	15.7	14.9	15.1	15.2	15.1	15.2	15.6	15.7	15.3	14.7
	指数	100.0	94.9	96.2	96.8	96.2	96.8	99.4	100.0	97.5	93.6
東海	進学率	14.1	14.2	14.1	14.0	14.1	14.3	14.9	14.9	14.5	13.6
	指数	100.0	100.7	100.0	99.3	100.0	101.4	105.7	105.7	102.8	96.5
近畿	進学率	14.7	14.6	14.7	14.4	14.7	15.1	15.0	14.1	13.8	13.3
	指数	100.0	99.3	100.0	98.0	100.0	102.7	102.0	95.9	93.9	90.5
中国	進学率	16.5	16.0	15.6	14.8	15.2	16.2	16.2	16.8	15.5	15.4
	指数	100.0	97.0	94.5	89.7	92.1	98.2	98.2	101.8	93.9	93.3
四国	進学率	18.1	17.9	17.2	17.0	17.3	17.2	17.8	17.1	16.1	15.8
	指数	100.0	98.9	95.0	93.9	95.6	95.0	98.3	94.5	89.0	87.3
九州沖縄	進学率	18.6	18.0	18.2	18.0	18.4	18.9	20.2	19.3	18.9	18.2
	指数	100.0	96.8	97.8	96.8	98.9	101.6	108.6	103.8	101.6	97.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2024年）

■ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は沖縄

大学進学率	1位：東京（73.0%）	2位：京都（70.8%）	3位：神奈川（67.3%）
短期大学進学率	1位：大分（6.3%）	2位：鳥取（6.2%）	3位：富山（5.9%）
専門学校進学率	1位：沖縄（25.6%）	2位：新潟（24.1%）	3位：北海道（22.6%）

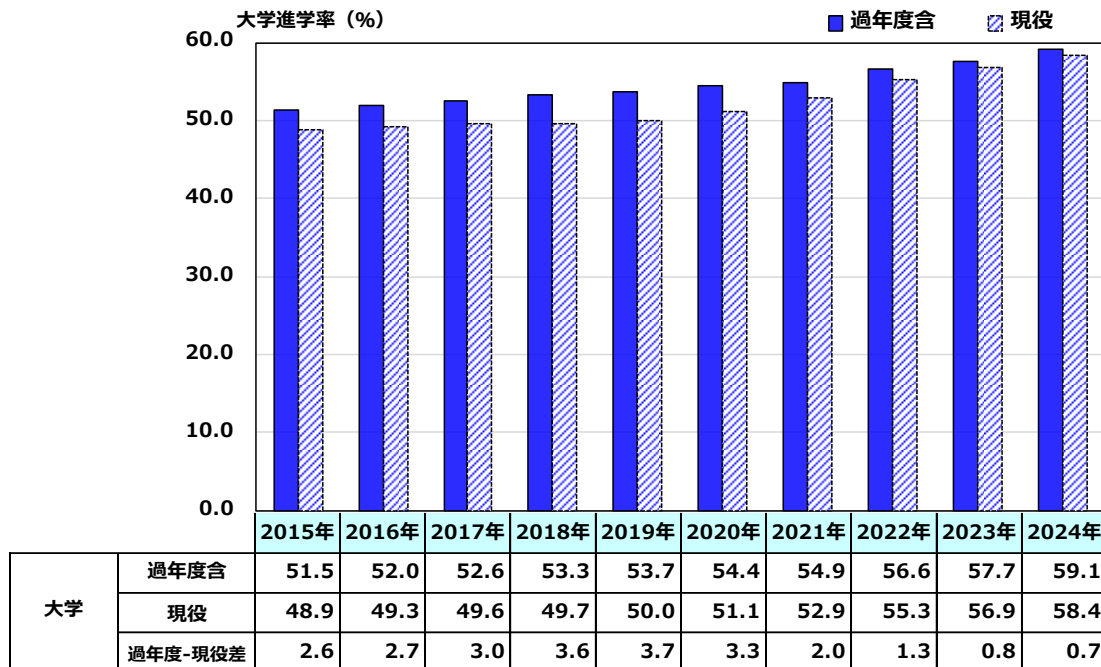


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■ 2024年現役と過年度含の進学率の差は、大学は0.7ポイント (過年度含が高い)。
短期大学は現役、過年度含に差がない (5年連続)

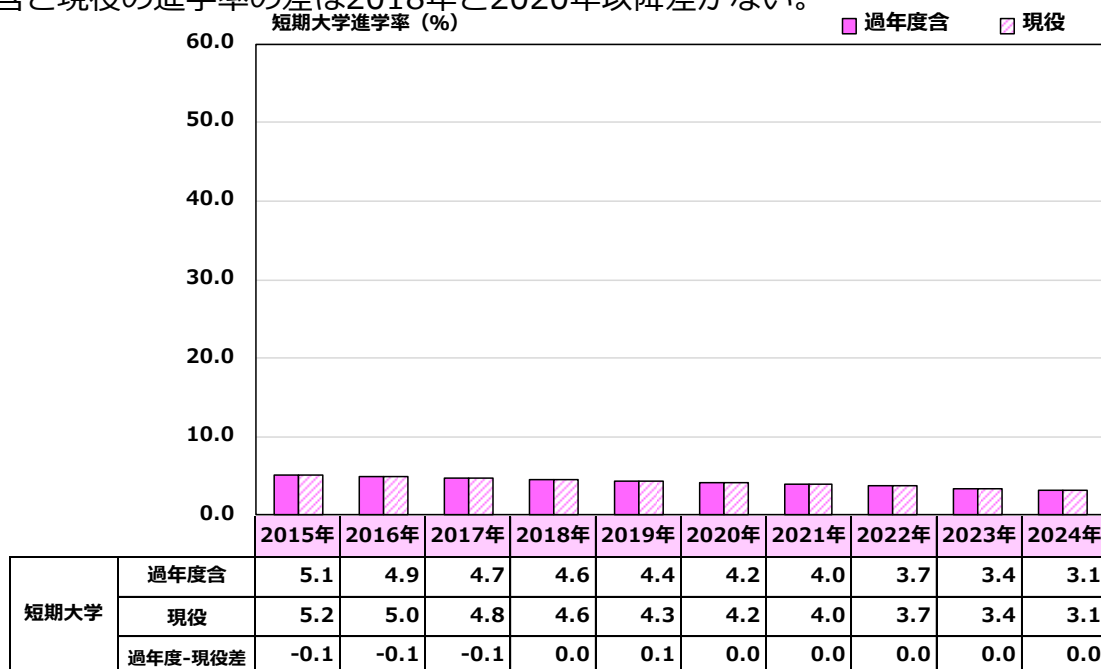
大学進学者

- ・ 現役の進学率は2015年48.9%→2024年58.4% (9.5ポイント上昇)。
- ・ 過年度含の進学率は2015年51.5%→2024年59.1% (7.6ポイント上昇)。
- ・ 過年度含と現役の進学率の差は2015年2.6ポイント→2024年0.7ポイントと縮小。



短期大学進学者

- ・ 現役の進学率は2015年5.2%→2024年3.1% (2.1ポイント低下)。
- ・ 過年度含の進学率は2015年5.1%→2024年3.1% (2.0ポイント低下)。
- ・ 過年度含と現役の進学率の差は2018年と2020年以降差がない。

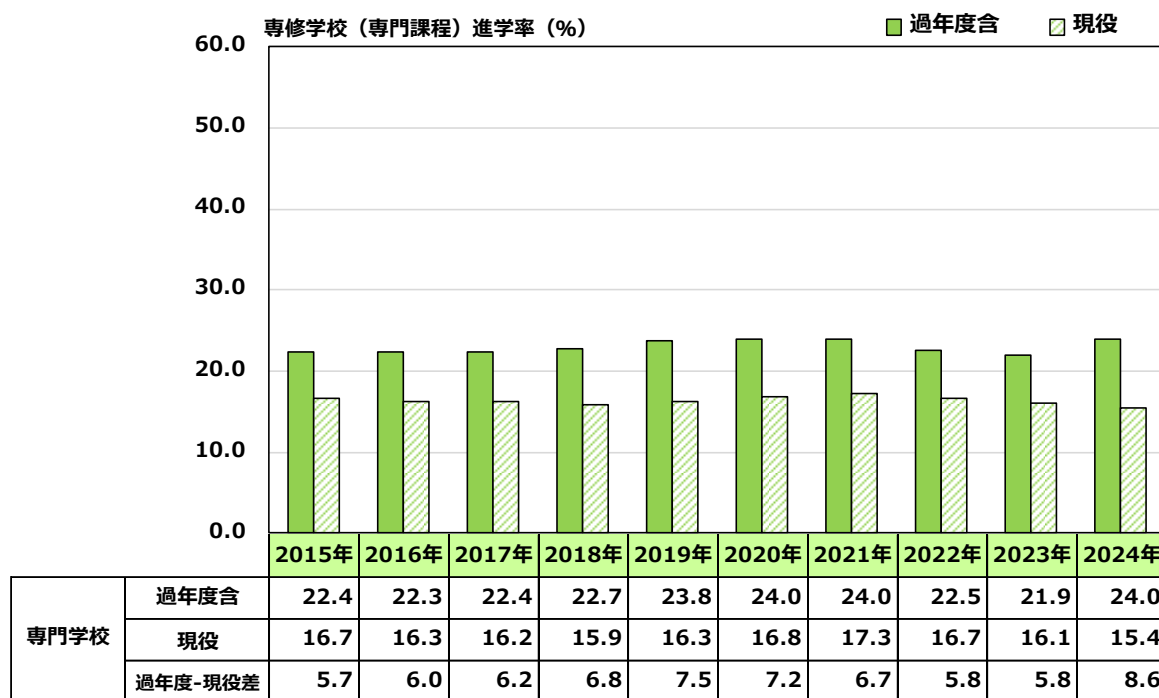


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■ 専門学校で2024年現役と過年度含の進学率の差は、8.6ポイント（過年度含が高い）

専門学校進学者

- ・ 現役の進学率は2015年16.7%→2024年15.4%（1.3ポイント低下）。
- ・ 過年度含の進学率は2015年22.4%→2024年24.0%（1.6ポイント上昇）。
- ・ 過年度含と現役の進学率の差は2015年5.7ポイント→2024年8.6ポイントと拡大。



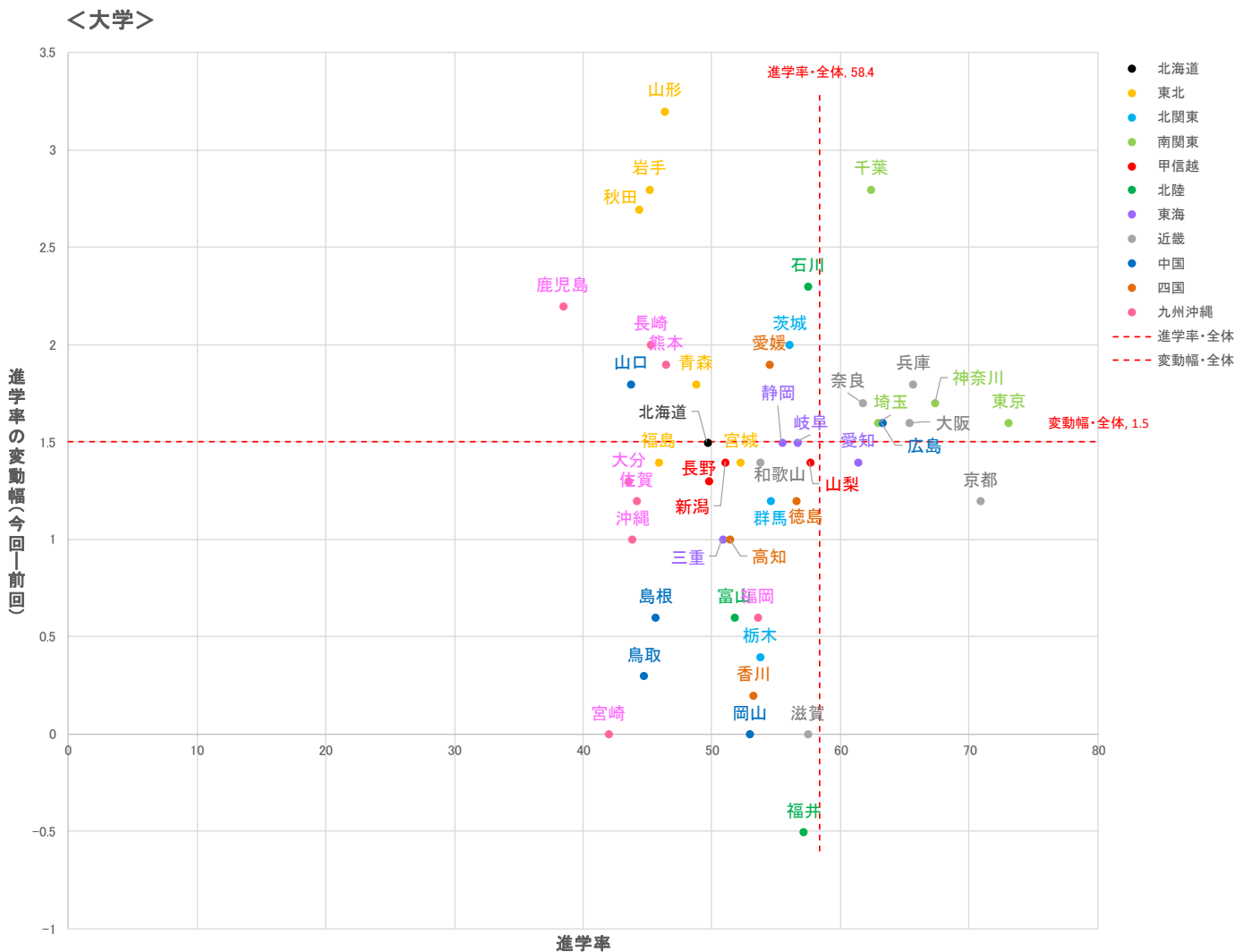
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

（参考）大学・短期大学・専門学校進学率ランキング

（）内は前回からの変動 単位（%）

大学			短期大学			専門学校		
1	東京	73.0 (1.6)	1	大分	6.3 (▲1.1)	1	沖縄	25.6 (0.5)
2	京都	70.8 (1.2)	2	鳥取	6.2 (▲0.9)	2	新潟	24.1 (▲2.0)
3	神奈川	67.3 (1.7)	3	富山	5.9 (0.2)	3	北海道	22.6 (▲0.4)
4	兵庫	65.6 (1.8)	4	長野	5.7 (▲0.2)	4	島根	21.5 (▲1.1)
5	大阪	65.3 (1.6)		鹿児島	5.7 (▲0.1)	5	山形	20.0 (▲0.3)
6	広島	63.2 (1.6)	6	秋田	5.0 (▲0.9)		長野	20.0 (▲0.8)
7	埼玉	62.9 (1.6)	7	石川	4.8 (0.1)	7	鹿児島	19.4 (▲0.9)
8	千葉	62.3 (2.8)	8	福島	4.6 (▲0.5)	8	鳥取	18.9 (▲0.7)
9	奈良	61.7 (1.7)	9	山梨	4.5 (▲0.1)		熊本	18.9 (▲0.5)
10	愛知	61.3 (1.4)		岐阜	4.5 (▲0.4)	10	群馬	18.5 (▲0.3)
11	山梨	57.6 (1.4)	11	滋賀	4.4 (0.2)	11	岩手	18.3 (▲1.0)
12	石川	57.4 (2.3)	12	三重	4.3 (▲0.2)	12	秋田	17.9 (▲0.8)
	滋賀	57.4 (0.0)	13	青森	4.2 (▲0.7)	13	大分	17.8 (▲2.2)
14	福井	57.1 (▲0.5)	14	島根	4.1 (▲0.5)	14	宮城	17.7 (0.1)
15	岐阜	56.6 (1.5)		高知	4.1 (0.1)		佐賀	17.7 (0.8)
16	徳島	56.5 (1.2)		福岡	4.1 (▲0.2)	16	千葉	17.6 (▲1.6)
17	茨城	56.0 (2.0)		宮崎	4.1 (▲0.2)		山梨	17.6 (▲0.6)
18	静岡	55.4 (1.5)	18	山口	4.0 (▲0.1)	18	栃木	17.5 (0.2)
19	群馬	54.5 (1.2)	19	山形	3.9 (▲1.1)	19	宮崎	17.1 (▲0.2)
	愛媛	54.4 (1.9)		香川	3.9 (▲0.4)	20	茨城	17.0 (▲0.5)

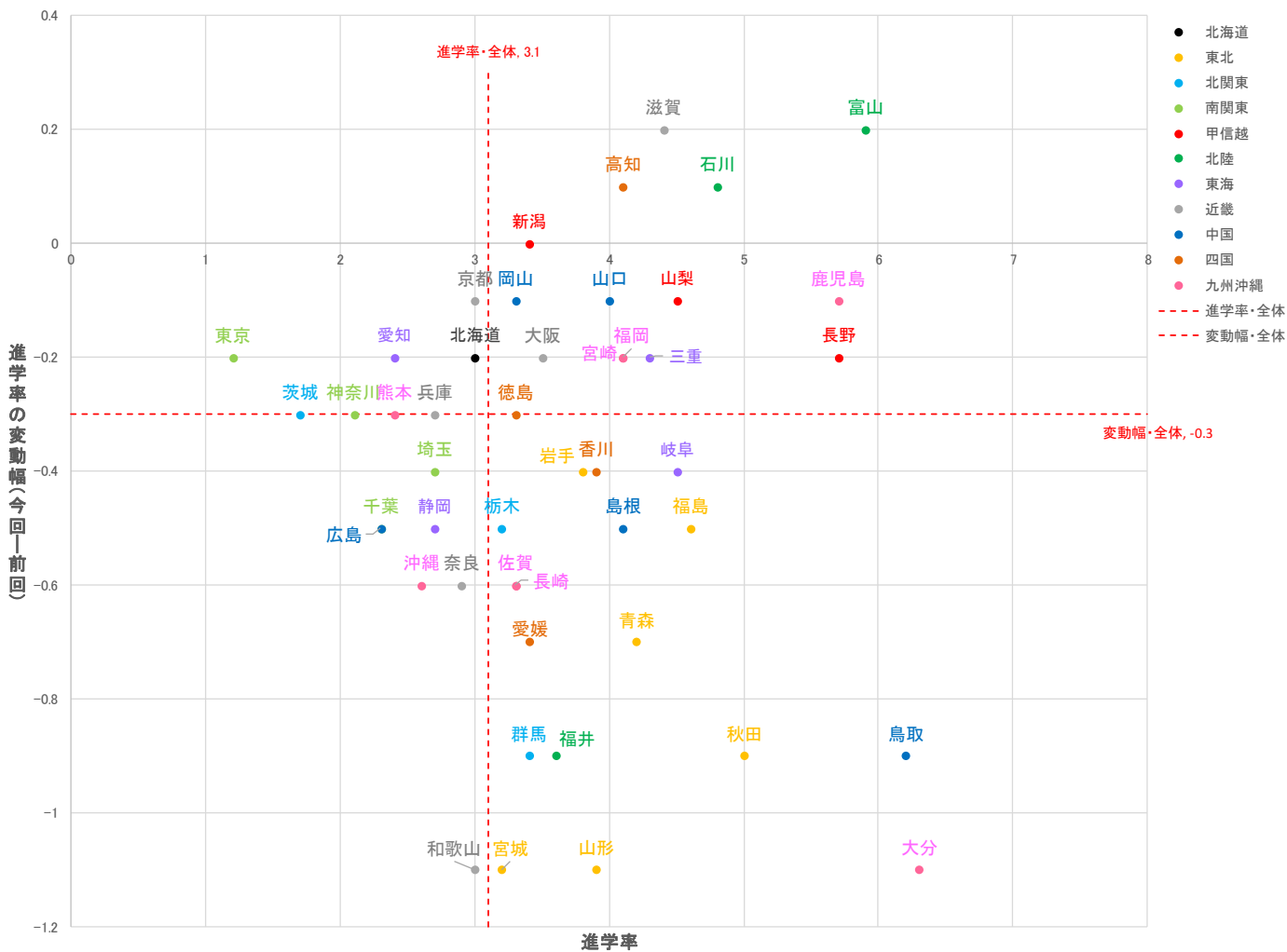
（参考）進学率と前回からの変動幅〈大学〉



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

（参考）進学率と前回からの変動幅＜短期大学＞

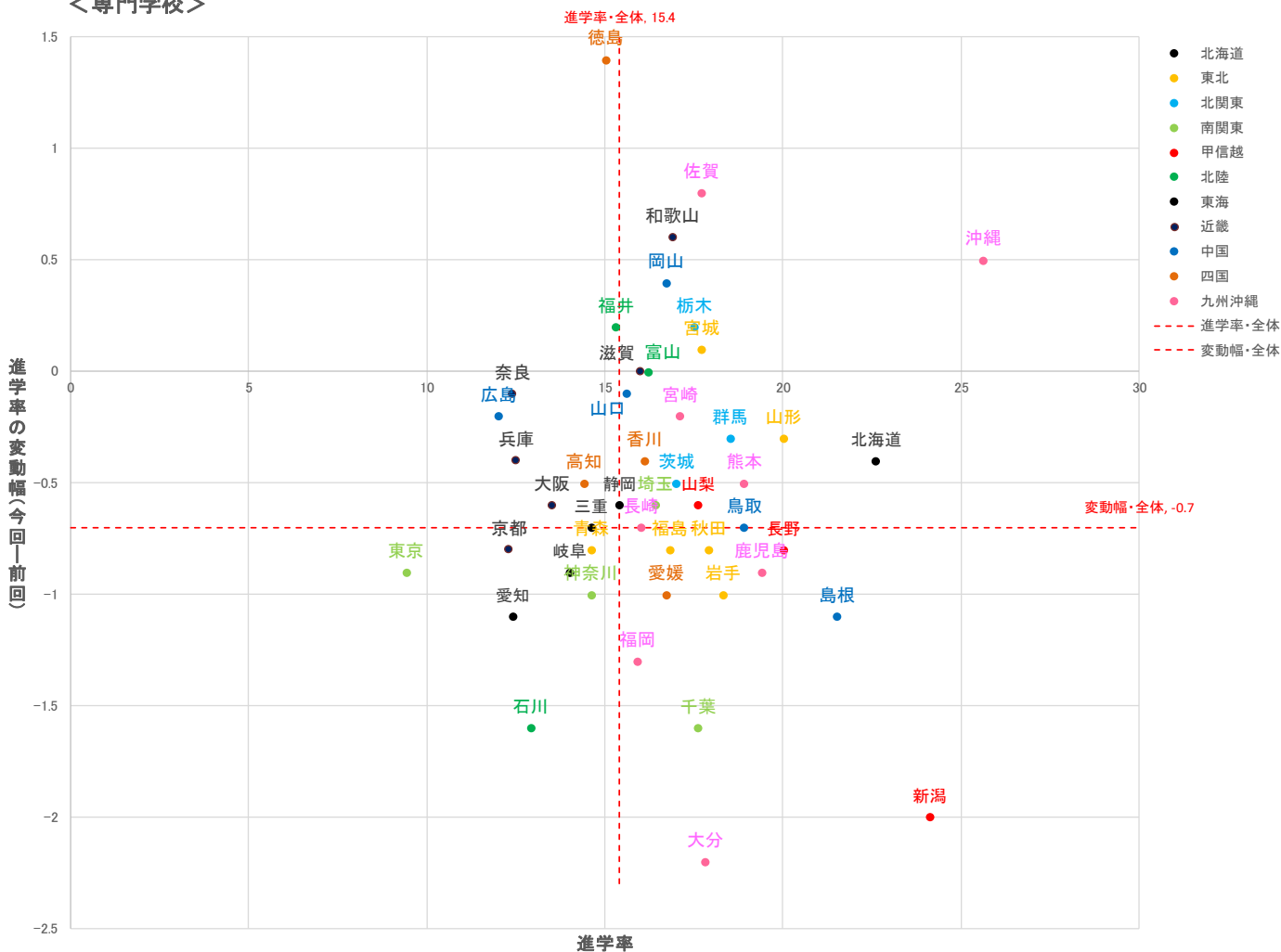
＜短期大学＞



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

（参考）進学率と前回からの変動幅＜専門学校＞

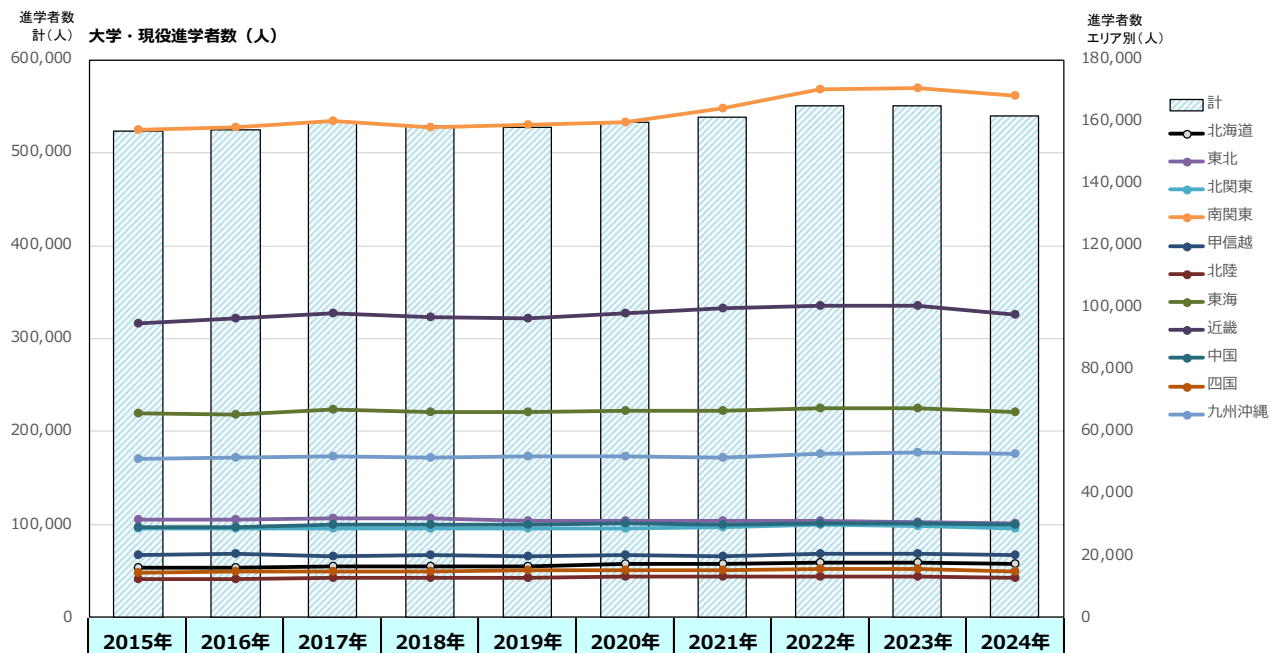
＜専門学校＞



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数の推移 (現役 : エリア別)

(参考) 大学進学者数の推移

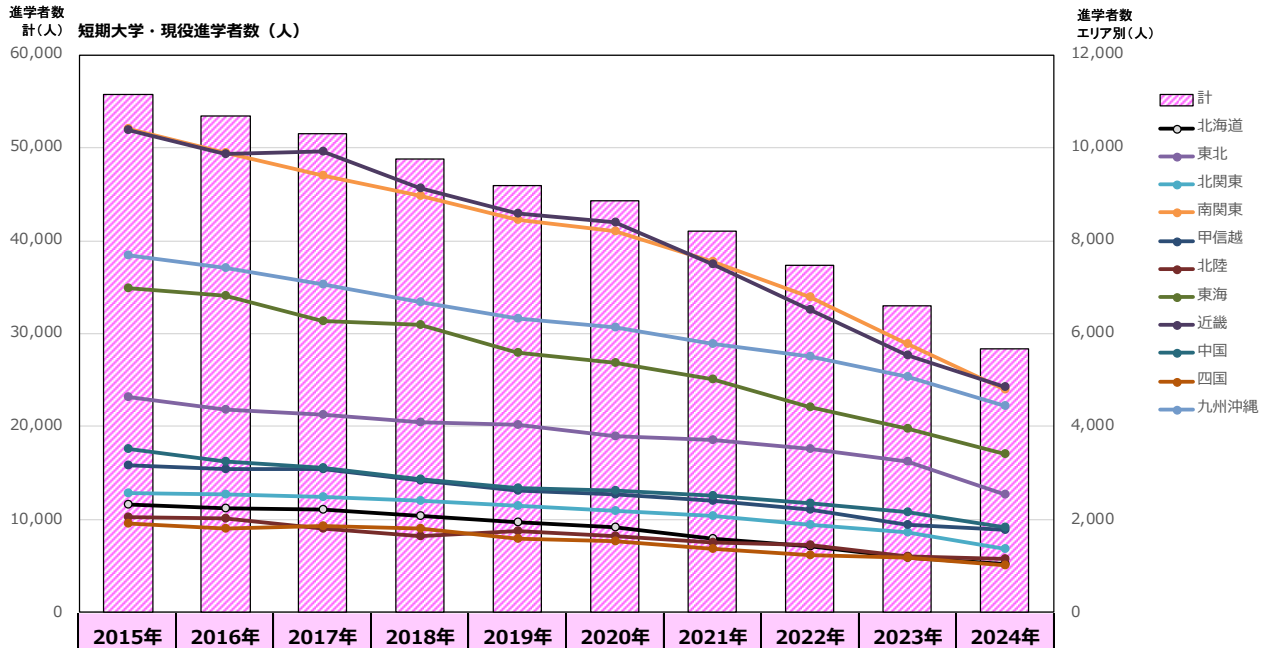


	進学者数	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
計	進学者数	522,656	525,195	532,558	527,996	527,457	533,140	538,427	550,559	550,489	539,813
北海道	進学者数	16,042	16,206	16,618	16,475	16,625	17,232	17,353	17,821	17,603	17,199
東北	進学者数	31,806	31,751	32,043	31,858	31,142	31,215	31,129	31,383	30,830	30,374
北関東	進学者数	28,744	28,900	28,690	28,799	28,674	28,929	29,133	29,806	29,644	28,956
南関東	進学者数	157,421	158,134	160,276	158,255	158,870	159,675	164,418	170,513	170,837	168,489
甲信越	進学者数	20,380	20,490	19,821	20,000	19,618	20,270	19,952	20,587	20,641	20,243
北陸	進学者数	12,427	12,251	12,758	12,852	12,662	13,309	13,066	13,242	13,259	13,042
東海	進学者数	66,061	65,311	67,154	66,458	66,122	66,615	66,773	67,535	67,740	66,186
近畿	進学者数	94,972	96,659	98,287	96,866	96,658	98,317	99,736	100,777	100,594	97,844
中国	進学者数	29,256	29,207	29,934	29,796	30,030	30,219	29,956	30,295	30,596	29,797
四国	進学者数	14,484	14,804	15,001	14,908	15,123	15,386	15,351	15,639	15,542	15,024
九州沖縄	進学者数	51,063	51,482	51,976	51,729	51,933	51,973	51,560	52,961	53,203	52,659

※データ元 : 文部科学省「学校基本調査」

進学者数の推移 (現役 : エリア別)

(参考) 短期大学進学者数の推移

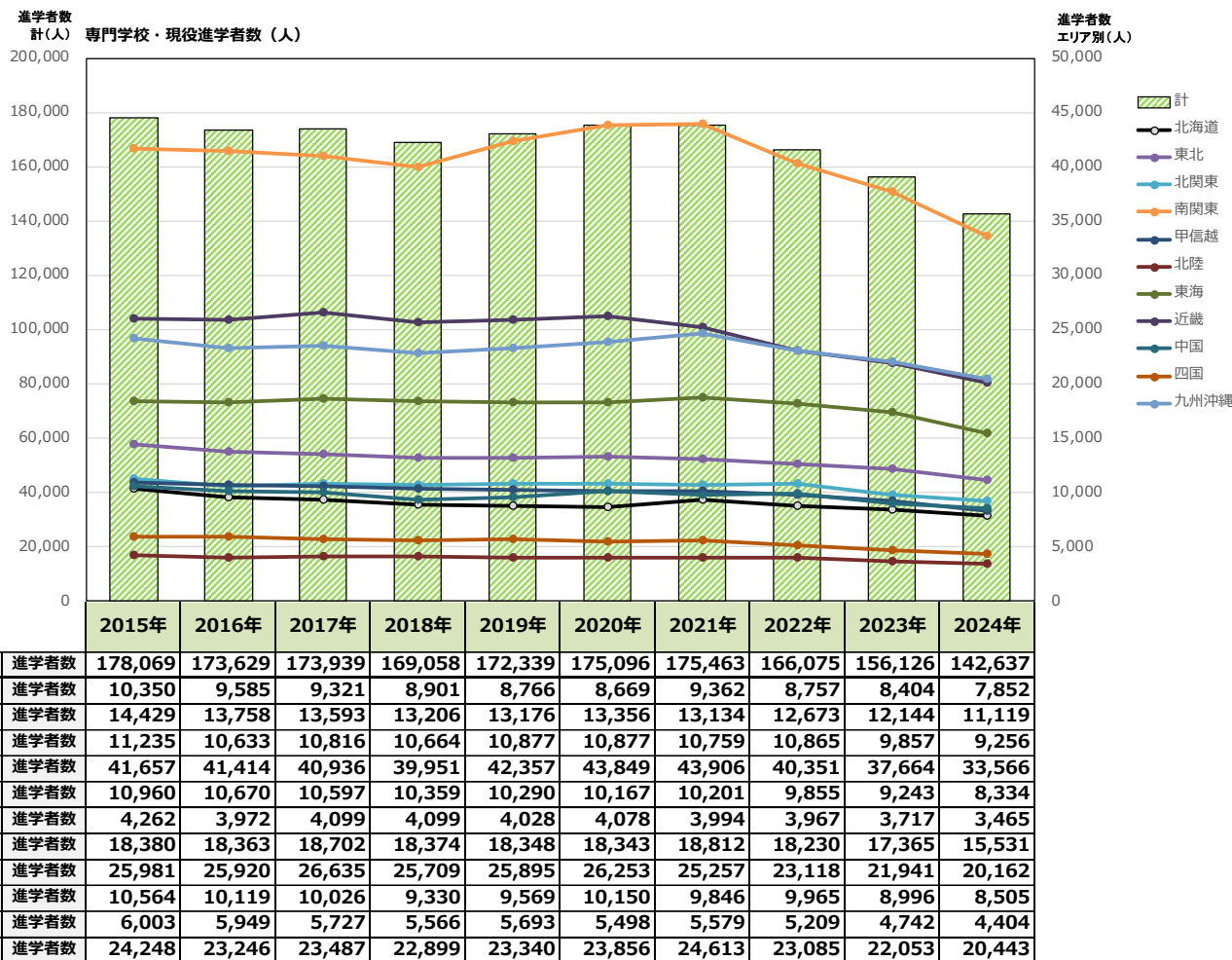


	進学者数	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
計	進学者数	55,689	53,361	51,486	48,768	45,879	44,267	41,023	37,302	32,992	28,305
北海道	進学者数	2,315	2,256	2,216	2,080	1,954	1,848	1,585	1,416	1,187	1,048
東北	進学者数	4,641	4,358	4,259	4,097	4,046	3,801	3,713	3,515	3,247	2,552
北関東	進学者数	2,582	2,531	2,499	2,409	2,293	2,192	2,078	1,880	1,737	1,382
南関東	進学者数	10,419	9,904	9,394	8,980	8,449	8,202	7,545	6,777	5,792	4,811
甲信越	進学者数	3,180	3,097	3,096	2,850	2,622	2,543	2,399	2,208	1,901	1,785
北陸	進学者数	2,047	2,037	1,818	1,656	1,744	1,651	1,499	1,467	1,217	1,147
東海	進学者数	6,976	6,829	6,263	6,198	5,601	5,365	5,028	4,422	3,970	3,406
近畿	進学者数	10,384	9,876	9,906	9,124	8,578	8,382	7,493	6,515	5,526	4,844
中国	進学者数	3,527	3,256	3,108	2,882	2,681	2,616	2,503	2,355	2,155	1,843
四国	進学者数	1,922	1,798	1,859	1,819	1,591	1,540	1,386	1,227	1,192	1,025
九州沖縄	進学者数	7,696	7,419	7,068	6,673	6,320	6,127	5,794	5,520	5,068	4,462

※データ元 : 文部科学省「学校基本調査」

進学者数の推移（現役：エリア別）

（参考）専門学校進学者数の推移



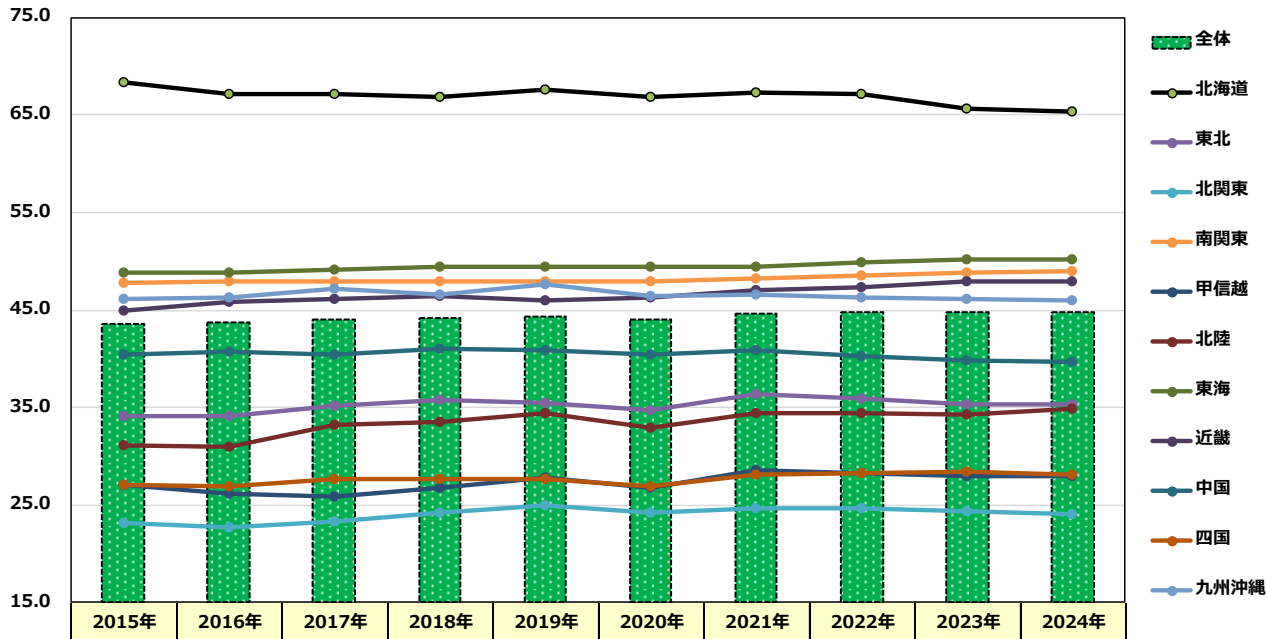
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移 (全体：大学入学者数：エリア別：2015～2024年)

■ 2015年43.6%→2024年44.8% (1.2ポイント上昇)

- ・ 全体で2015年43.6%→2024年44.8%と1.2ポイント上昇。
- ・ 2024年上昇が高いのは、1位 北陸 (112.2)、2位 近畿 (106.7)、3位 北関東 (103.9)。 ※注
- ・ 2024年残留率が高いのは、1位 北海道 (65.3%)、2位 東海 (50.2%)、3位 南関東 (49.0%)。
- ・ 2024年残留率が低いのは、1位 北関東 (24.1%)、2位 甲信越 (28.0%)、3位 四国 (28.1%)。

※注 () 内は指数=2015年を100として算出
 地元残留率 (%) : 全体



		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体	残留率	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4	44.1	44.7	44.8	44.8	44.8
	指数	100.0	100.2	101.1	101.4	101.8	101.1	102.5	102.8	102.8	102.8
北海道	残留率	68.3	67.1	67.2	66.9	67.6	66.9	67.3	67.1	65.6	65.3
	指数	100.0	98.2	98.4	98.0	99.0	98.0	98.5	98.2	96.0	95.6
東北	残留率	34.1	34.1	35.2	35.7	35.5	34.7	36.4	36.0	35.3	35.3
	指数	100.0	100.0	103.2	104.7	104.1	101.8	106.7	105.6	103.5	103.5
北関東	残留率	23.2	22.7	23.3	24.2	25.0	24.2	24.7	24.6	24.4	24.1
	指数	100.0	97.8	100.4	104.3	107.8	104.3	106.5	106.0	105.2	103.9
南関東	残留率	47.8	47.9	48.0	47.9	47.9	48.0	48.2	48.5	48.8	49.0
	指数	100.0	100.2	100.4	100.2	100.2	100.4	100.8	101.5	102.1	102.5
甲信越	残留率	27.1	26.2	25.9	26.7	27.8	26.8	28.6	28.3	28.0	28.0
	指数	100.0	96.7	95.6	98.5	102.6	98.9	105.5	104.4	103.3	103.3
北陸	残留率	31.1	30.9	33.2	33.5	34.4	32.9	34.4	34.4	34.3	34.9
	指数	100.0	99.4	106.8	107.7	110.6	105.8	110.6	110.6	110.3	112.2
東海	残留率	48.9	48.9	49.2	49.5	49.5	49.4	49.5	49.9	50.2	50.2
	指数	100.0	100.0	100.6	101.2	101.2	101.0	101.2	102.0	102.7	102.7
近畿	残留率	45.0	45.8	46.1	46.4	46.0	46.3	47.0	47.3	47.9	48.0
	指数	100.0	101.8	102.4	103.1	102.2	102.9	104.4	105.1	106.4	106.7
中国	残留率	40.5	40.7	40.5	41.0	40.9	40.4	40.9	40.3	39.8	39.7
	指数	100.0	100.5	100.0	101.2	101.0	99.8	101.0	99.5	98.3	98.0
四国	残留率	27.1	26.9	27.7	27.6	27.6	26.9	28.1	28.3	28.4	28.1
	指数	100.0	99.3	102.2	101.8	101.8	99.3	103.7	104.4	104.8	103.7
九州沖縄	残留率	46.1	46.3	47.2	46.6	47.7	46.5	46.6	46.3	46.1	46.0
	指数	100.0	100.4	102.4	101.1	103.5	100.9	101.1	100.4	100.0	99.8

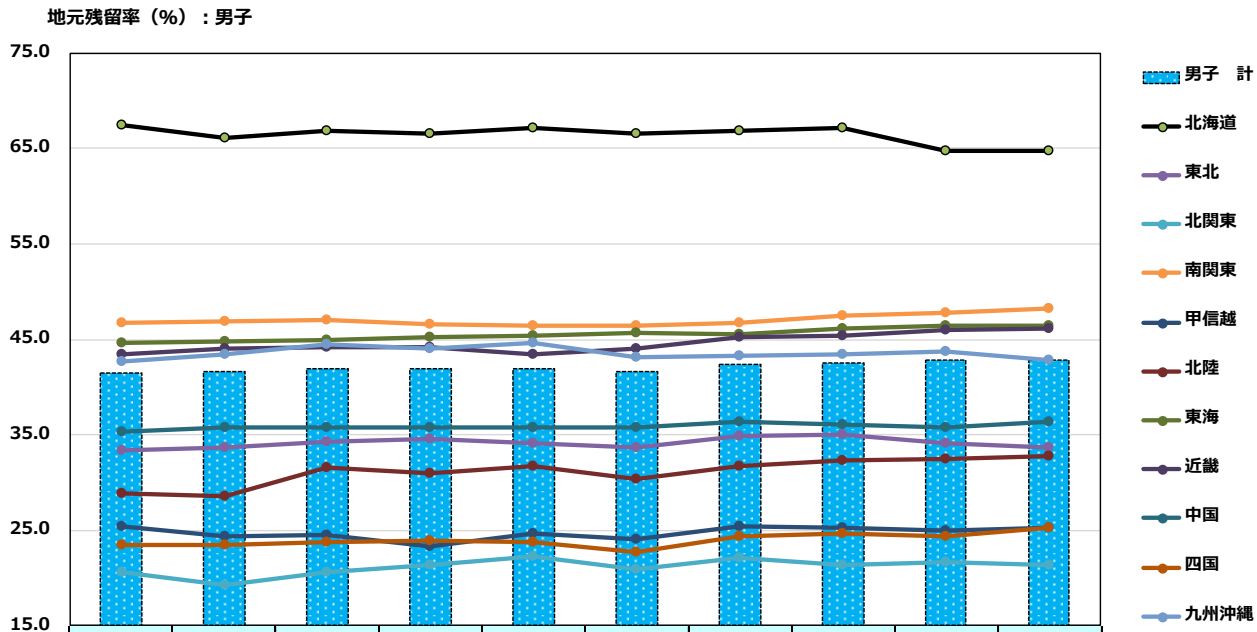
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移 (男子：大学入学者数：エリア別：2015～2024年)

■2015年41.5%→2024年42.8% (1.3ポイント上昇)

- ・ 男子は2015年41.5%→2024年42.8%と1.3ポイント上昇。
- ・ 2024年上昇が高いのは、1位 北陸 (113.9)、2位 四国 (108.1)、3位 近畿 (106.0) 。※注
- ・ 2024年残留率が高いのは、1位 北海道 (64.7%)、2位 南関東 (48.3%)、3位 東海 (46.4%)。
- ・ 2024年残留率が低いのは、1位 北関東 (21.4%)、2位 甲信越 (25.2%)、3位 四国 (25.3%)。

※注 () 内は指数 = 2015年を100として算出



		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男子 計	残留率	41.5	41.6	42.0	41.9	41.9	41.7	42.4	42.6	42.8	42.8
	指数	100.0	100.2	101.2	101.0	101.0	100.5	102.2	102.7	103.1	103.1
北海道	残留率	67.5	66.1	66.8	66.6	67.1	66.5	66.8	67.1	64.8	64.7
	指数	100.0	97.9	99.0	98.7	99.4	98.5	99.0	99.4	96.0	95.9
東北	残留率	33.3	33.6	34.2	34.6	34.1	33.6	34.9	35.0	34.1	33.7
	指数	100.0	100.9	102.7	103.9	102.4	100.9	104.8	105.1	102.4	101.2
北関東	残留率	20.6	19.3	20.6	21.3	22.2	20.9	22.1	21.4	21.7	21.4
	指数	100.0	93.7	100.0	103.4	107.8	101.5	107.3	103.9	105.3	103.9
南関東	残留率	46.8	46.9	47.0	46.6	46.5	46.4	46.7	47.5	47.8	48.3
	指数	100.0	100.2	100.4	99.6	99.4	99.1	99.8	101.5	102.1	103.2
甲信越	残留率	25.4	24.3	24.5	23.3	24.7	24.1	25.4	25.2	25.0	25.2
	指数	100.0	95.7	96.5	91.7	97.2	94.9	100.0	99.2	98.4	99.2
北陸	残留率	28.8	28.6	31.5	31.0	31.7	30.3	31.7	32.3	32.4	32.8
	指数	100.0	99.3	109.4	107.6	110.1	105.2	110.1	112.2	112.5	113.9
東海	残留率	44.6	44.8	45.0	45.2	45.4	45.7	45.6	46.1	46.5	46.4
	指数	100.0	100.4	100.9	101.3	101.8	102.5	102.2	103.4	104.3	104.0
近畿	残留率	43.5	44.0	44.2	44.2	43.5	44.1	45.3	45.4	46.0	46.1
	指数	100.0	101.1	101.6	101.6	100.0	101.4	104.1	104.4	105.7	106.0
中国	残留率	35.3	35.7	35.7	35.8	35.7	35.7	36.4	36.1	35.8	36.3
	指数	100.0	101.1	101.1	101.4	101.1	101.1	103.1	102.3	101.4	102.8
四国	残留率	23.4	23.4	23.7	23.9	23.7	22.7	24.3	24.6	24.4	25.3
	指数	100.0	100.0	101.3	102.1	101.3	97.0	103.8	105.1	104.3	108.1
九州沖縄	残留率	42.7	43.4	44.5	44.0	44.6	43.2	43.3	43.5	43.7	42.9
	指数	100.0	101.6	104.2	103.0	104.4	101.2	101.4	101.9	102.3	100.5

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

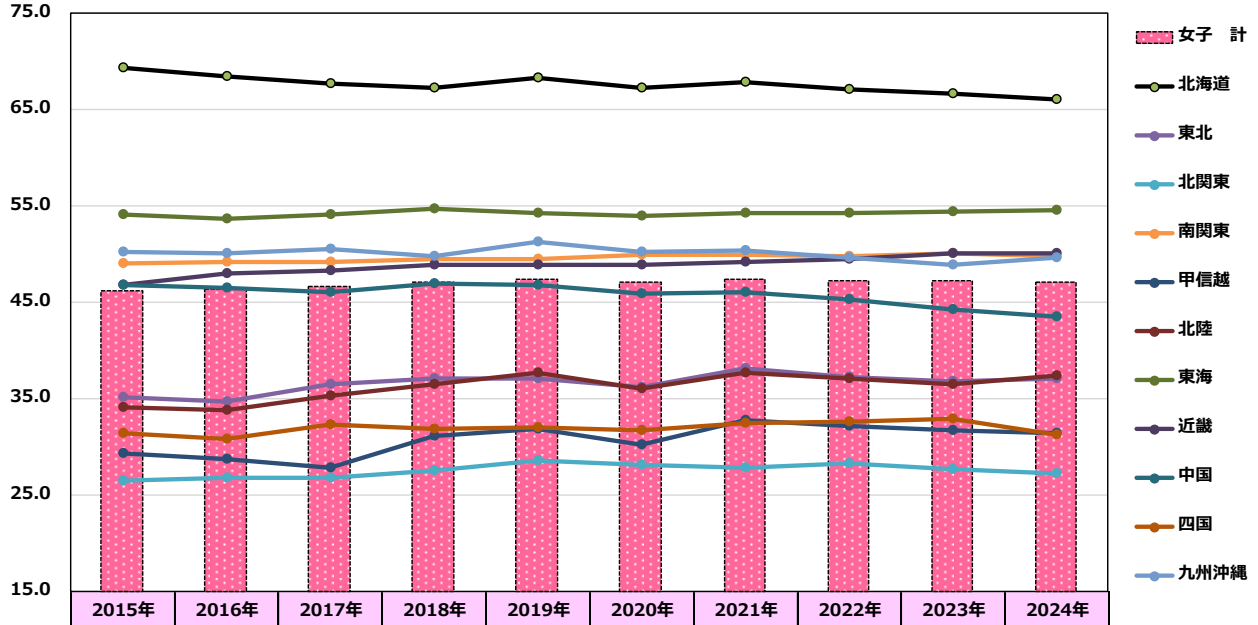
地元残留率の推移（女子：大学入学者数：エリア別：2015～2024年）

■2015年46.2%→2024年47.1%（0.9ポイント上昇）

- ・女子は2015年46.2%→2024年47.1%と0.9ポイント上昇。
- ・2024年上昇が高いのは、1位 北陸（109.7）、2位 甲信越（107.2）、3位 近畿（107.1）。※注
- ・2024年残留率が高いのは、1位 北海道（66.0%）、2位 東海（54.6%）、3位 近畿（50.1%）。
- ・2024年残留率が低いのは、1位 北関東（27.2%）、2位 四国（31.2%）、3位 甲信越（31.4%）。

※注（）内は指数=2015年を100として算出

地元残留率（%）：女子



		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
女子計	残留率	46.2	46.3	46.6	47.0	47.3	47.0	47.4	47.2	47.2	47.1
	指数	100.0	100.2	100.9	101.7	102.4	101.7	102.6	102.2	102.2	101.9
北海道	残留率	69.3	68.4	67.7	67.3	68.3	67.3	67.9	67.1	66.6	66.0
	指数	100.0	98.7	97.7	97.1	98.6	97.1	98.0	96.8	96.1	95.2
東北	残留率	35.1	34.7	36.4	37.0	37.1	36.1	38.1	37.2	36.7	37.0
	指数	100.0	98.9	103.7	105.4	105.7	102.8	108.5	106.0	104.6	105.4
北関東	残留率	26.5	26.7	26.7	27.5	28.5	28.1	27.8	28.3	27.6	27.2
	指数	100.0	100.8	100.8	103.8	107.5	106.0	104.9	106.8	104.2	102.6
南関東	残留率	49.0	49.2	49.2	49.4	49.5	49.9	49.9	49.8	50.0	49.8
	指数	100.0	100.4	100.4	100.8	101.0	101.8	101.8	101.6	102.0	101.6
甲信越	残留率	29.3	28.7	27.8	31.0	31.8	30.2	32.7	32.1	31.6	31.4
	指数	100.0	98.0	94.9	105.8	108.5	103.1	111.6	109.6	107.8	107.2
北陸	残留率	34.0	33.7	35.2	36.5	37.6	36.0	37.6	37.1	36.4	37.3
	指数	100.0	99.1	103.5	107.4	110.6	105.9	110.6	109.1	107.1	109.7
東海	残留率	54.1	53.7	54.1	54.7	54.3	54.0	54.3	54.2	54.4	54.6
	指数	100.0	99.3	100.0	101.1	100.4	99.8	100.4	100.2	100.6	100.9
近畿	残留率	46.8	47.9	48.3	48.8	48.9	48.8	49.1	49.4	50.0	50.1
	指数	100.0	102.4	103.2	104.3	104.5	104.3	104.9	105.6	106.8	107.1
中国	残留率	46.7	46.4	46.0	46.9	46.8	45.8	46.0	45.2	44.2	43.5
	指数	100.0	99.4	98.5	100.4	100.2	98.1	98.5	96.8	94.6	93.1
四国	残留率	31.4	30.8	32.2	31.8	31.9	31.6	32.4	32.5	32.8	31.2
	指数	100.0	98.1	102.5	101.3	101.6	100.6	103.2	103.5	104.5	99.4
九州沖縄	残留率	50.2	50.0	50.5	49.8	51.3	50.2	50.3	49.6	48.8	49.6
	指数	100.0	99.6	100.6	99.2	102.2	100.0	100.2	98.8	97.2	98.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

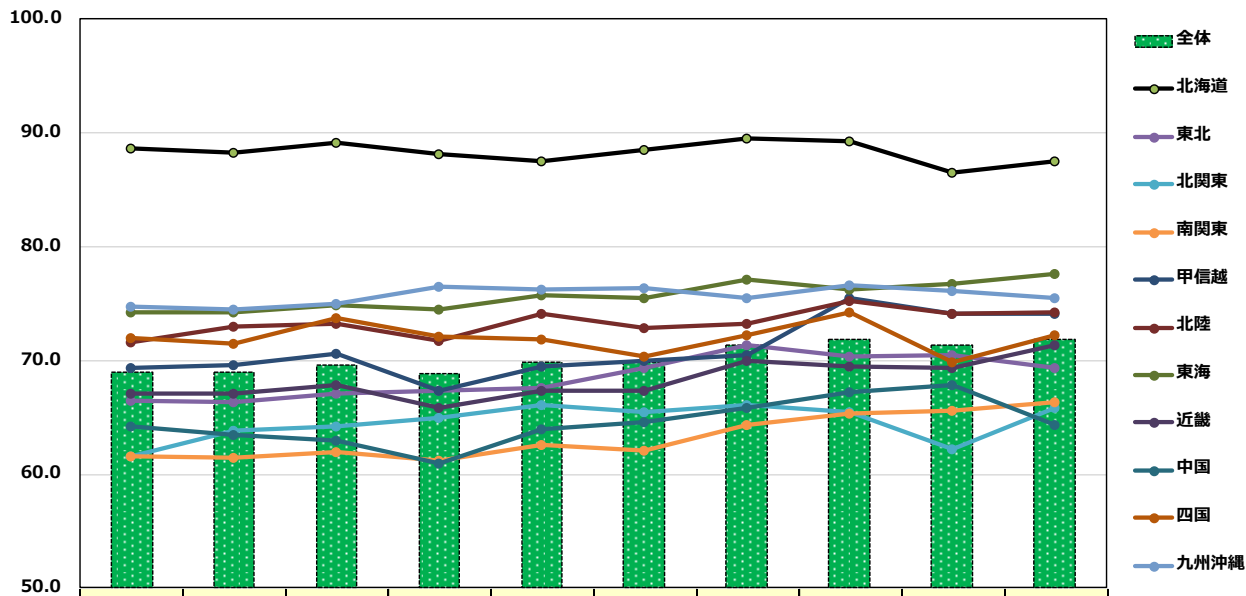
地元残留率の推移 (全体：短期大学入学者数：エリア別：2015～2024年)

■2015年69.0%→2024年71.9% (2.9ポイント上昇)

- ・全体で2015年69.0%→2024年71.9%と2.9ポイント上昇。
- ・2024年上昇が高いのは、1位 南関東 (107.6)、2位甲信越 (106.9)、3位 北関東 (106.8)。
- ・2024年残留率が高いのは、1位 北海道 (87.5%)、2位 東海 (77.6%)、3位 九州沖縄 (75.5%)。
- ・2024年残留率が低いのは、1位 中国 (64.4%)、2位 北関東 (65.8%)、3位 南関東 (66.3%)。

※注 () 内は指数 = 2015年を100として算出

地元残留率 (%) : 全体



		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体	残留率	69.0	69.0	69.6	68.9	69.9	69.9	71.3	71.8	71.3	71.9
	指数	100.0	100.0	100.9	99.9	101.3	101.3	103.3	104.1	103.3	104.2
北海道	残留率	88.6	88.3	89.2	88.1	87.5	88.5	89.5	89.3	86.5	87.5
	指数	100.0	99.7	100.7	99.4	98.8	99.9	101.0	100.8	97.6	98.8
東北	残留率	66.5	66.4	67.1	67.4	67.6	69.3	71.3	70.4	70.5	69.3
	指数	100.0	99.8	100.9	101.4	101.7	104.2	107.2	105.9	106.0	104.2
北関東	残留率	61.6	63.8	64.2	65.0	66.1	65.5	66.1	65.5	62.2	65.8
	指数	100.0	103.6	104.2	105.5	107.3	106.3	107.3	106.3	101.0	106.8
南関東	残留率	61.6	61.4	62.0	61.2	62.6	62.1	64.3	65.3	65.6	66.3
	指数	100.0	99.7	100.6	99.4	101.6	100.8	104.4	106.0	106.5	107.6
甲信越	残留率	69.3	69.6	70.6	67.4	69.5	70.0	70.5	75.5	74.1	74.1
	指数	100.0	100.4	101.9	97.3	100.3	101.0	101.7	108.9	106.9	106.9
北陸	残留率	71.6	73.0	73.2	71.7	74.1	72.8	73.2	75.2	74.1	74.2
	指数	100.0	102.0	102.2	100.1	103.5	101.7	102.2	105.0	103.5	103.6
東海	残留率	74.3	74.2	74.9	74.5	75.8	75.5	77.1	76.2	76.7	77.6
	指数	100.0	99.9	100.8	100.3	102.0	101.6	103.8	102.6	103.2	104.4
近畿	残留率	67.1	67.1	67.8	65.8	67.4	67.4	70.0	69.5	69.4	71.3
	指数	100.0	100.0	101.0	98.1	100.4	100.4	104.3	103.6	103.4	106.3
中国	残留率	64.2	63.4	62.9	61.0	63.9	64.6	65.9	67.2	67.8	64.4
	指数	100.0	98.8	98.0	95.0	99.5	100.6	102.6	104.7	105.6	100.3
四国	残留率	72.0	71.5	73.8	72.1	71.8	70.3	72.2	74.2	69.9	72.2
	指数	100.0	99.3	102.5	100.1	99.7	97.6	100.3	103.1	97.1	100.3
九州沖縄	残留率	74.8	74.5	75.0	76.5	76.2	76.4	75.5	76.6	76.1	75.5
	指数	100.0	99.6	100.3	102.3	101.9	102.1	100.9	102.4	101.7	100.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

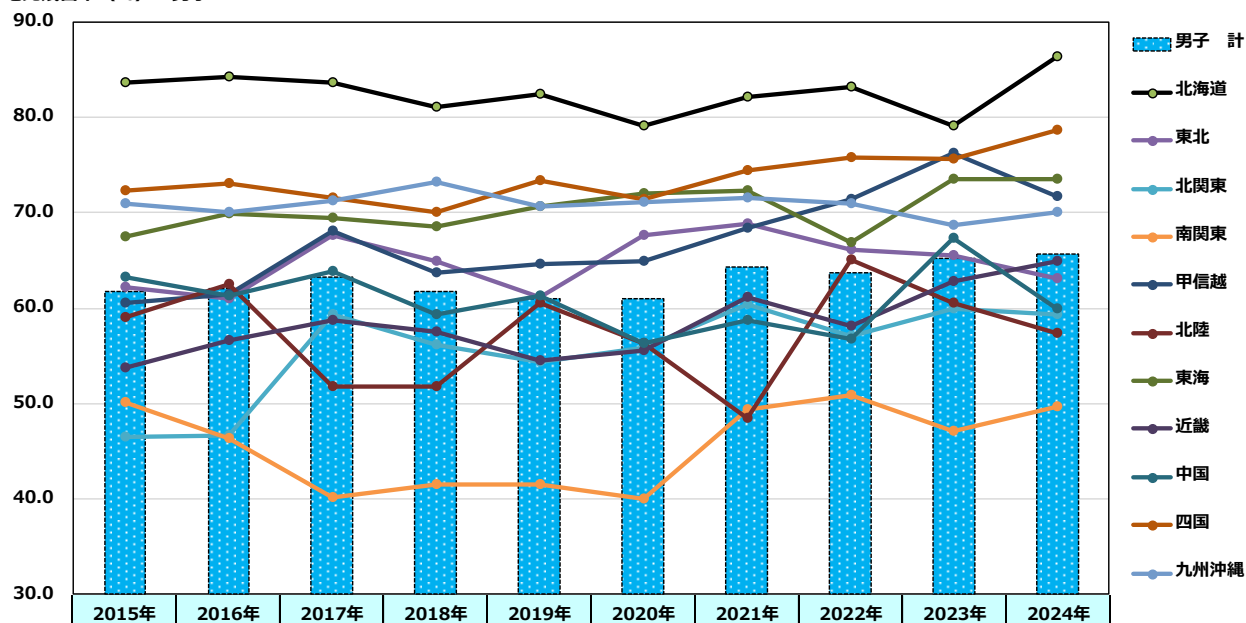
地元残留率の推移（男子：短期大学入学者数：エリア別：2015～2024年）

■2015年61.7%→2024年65.7%（4.0ポイント上昇）

- ・男子は2015年61.7%→2024年65.7%と4.0ポイント上昇。
- ・2024年上昇が高いのは、1位 北関東（127.7）、2位 近畿（120.9）、3位 甲信越（118.5）。※注
- ・2024年残留率が高いのは、1位 北海道（86.4%）、2位 四国（78.6%）、3位 東海（73.5%）。
- ・2024年残留率が低いのは、1位 南関東（49.7%）、2位 北陸（57.4%）、3位 北関東（59.4%）。

※注（）内は指数=2015年を100として算出

地元残留率（%）：男子



		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男子 計	残留率	61.7	62.0	63.2	61.8	61.0	61.0	64.4	63.8	65.3	65.7
	指数	100.0	100.5	102.4	100.2	98.9	98.9	104.4	103.4	105.8	106.5
北海道	残留率	83.7	84.3	83.7	81.1	82.4	79.2	82.2	83.2	79.1	86.4
	指数	100.0	100.7	100.0	96.9	98.4	94.6	98.2	99.4	94.5	103.2
東北	残留率	62.2	61.0	67.7	64.9	61.2	67.7	68.8	66.2	65.6	63.1
	指数	100.0	98.1	108.8	104.3	98.4	108.8	110.6	106.4	105.5	101.4
北関東	残留率	46.5	46.7	59.3	56.2	54.3	55.9	60.4	57.1	60.0	59.4
	指数	100.0	100.4	127.5	120.9	116.8	120.2	129.9	122.8	129.0	127.7
南関東	残留率	50.2	46.3	40.2	41.6	41.5	40.0	49.4	50.9	47.1	49.7
	指数	100.0	92.2	80.1	82.9	82.7	79.7	98.4	101.4	93.8	99.0
甲信越	残留率	60.6	61.4	68.1	63.8	64.6	65.0	68.4	71.5	76.3	71.8
	指数	100.0	101.3	112.4	105.3	106.6	107.3	112.9	118.0	125.9	118.5
北陸	残留率	59.1	62.5	51.8	51.8	60.5	56.3	48.5	65.1	60.6	57.4
	指数	100.0	105.8	87.6	87.6	102.4	95.3	82.1	110.2	102.5	97.1
東海	残留率	67.5	69.9	69.4	68.6	70.6	72.1	72.3	66.9	73.6	73.5
	指数	100.0	103.6	102.8	101.6	104.6	106.8	107.1	99.1	109.0	108.9
近畿	残留率	53.7	56.7	58.8	57.6	54.5	55.5	61.1	58.1	62.8	64.9
	指数	100.0	105.6	109.5	107.3	101.5	103.4	113.8	108.2	116.9	120.9
中国	残留率	63.2	61.3	63.9	59.4	61.3	56.4	58.8	56.8	67.3	59.9
	指数	100.0	97.0	101.1	94.0	97.0	89.2	93.0	89.9	106.5	94.8
四国	残留率	72.3	73.1	71.6	70.0	73.4	71.4	74.4	75.8	75.6	78.6
	指数	100.0	101.1	99.0	96.8	101.5	98.8	102.9	104.8	104.6	108.7
九州沖縄	残留率	70.9	70.1	71.3	73.3	70.6	71.2	71.6	70.9	68.7	70.1
	指数	100.0	98.9	100.6	103.4	99.6	100.4	101.0	100.0	96.9	98.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

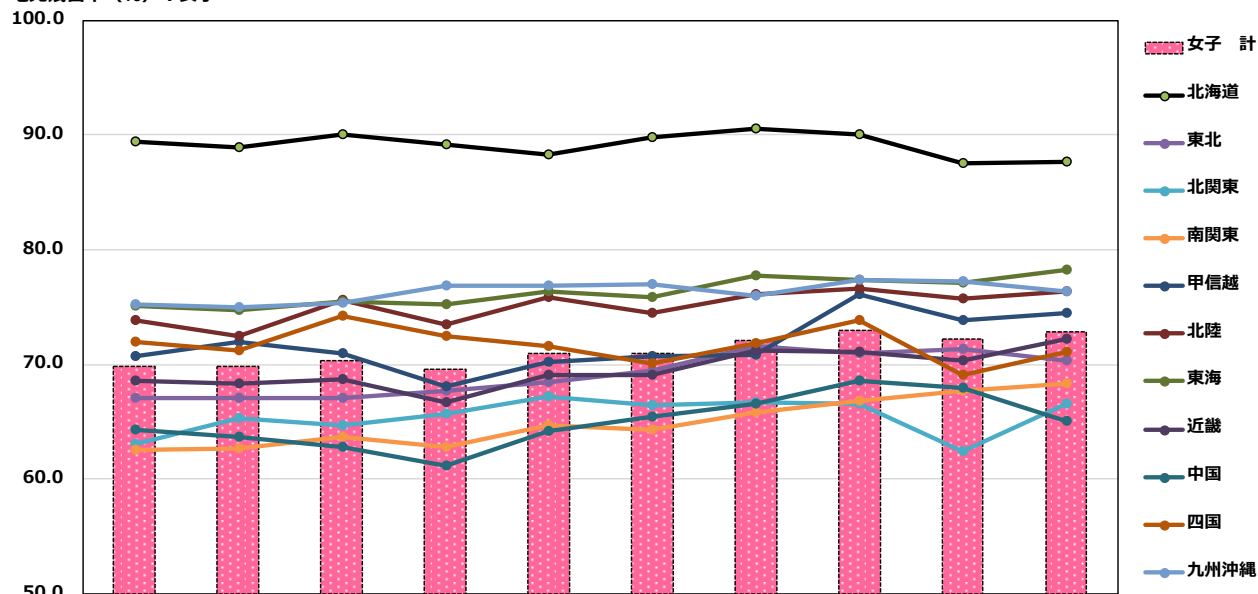
地元残留率の推移（女子：短期大学入学者数：エリア別：2015～2024年）

■ 2015年69.8%→2024年72.8%（3.0ポイント上昇）

- ・女子は2015年69.8%→2024年72.8%と3.0ポイント上昇。
- ・2024年上昇が高いのは、1位 南関東（109.3）、2位 北関東（105.7）、3位 甲信越・近畿（105.4）。※注
- ・2024年残留率が高いのは、1位 北海道（87.7%）、2位 東海（78.2%）、3位 北陸（76.4%）。
- ・2024年残留率が低いのは、1位 中国（65.0%）、2位 北関東（66.6%）、3位 東北（70.3%）。

※注（）内は指数=2015年を100として算出

地元残留率（%）：女子



		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
女子 計	残留率	69.8	69.8	70.3	69.6	70.9	71.0	72.1	72.9	72.2	72.8
	指数	100.0	100.0	100.7	99.7	101.6	101.7	103.3	104.4	103.4	104.3
北海道	残留率	89.4	88.9	90.1	89.2	88.3	89.8	90.5	90.0	87.5	87.7
	指数	100.0	99.4	100.8	99.8	98.8	100.4	101.2	100.7	97.9	98.1
東北	残留率	67.0	67.1	67.1	67.7	68.4	69.5	71.6	71.0	71.3	70.3
	指数	100.0	100.1	100.1	101.0	102.1	103.7	106.9	106.0	106.4	104.9
北関東	残留率	63.0	65.3	64.7	65.7	67.2	66.4	66.7	66.5	62.4	66.6
	指数	100.0	103.7	102.7	104.3	106.7	105.4	105.9	105.6	99.0	105.7
南関東	残留率	62.5	62.6	63.7	62.8	64.6	64.3	65.8	66.8	67.7	68.3
	指数	100.0	100.2	101.9	100.5	103.4	102.9	105.3	106.9	108.3	109.3
甲信越	残留率	70.7	72.0	71.0	68.0	70.2	70.7	70.8	76.1	73.8	74.5
	指数	100.0	101.8	100.4	96.2	99.3	100.0	100.1	107.6	104.4	105.4
北陸	残留率	73.9	72.5	75.6	73.5	75.8	74.5	76.1	76.6	75.7	76.4
	指数	100.0	98.1	102.3	99.5	102.6	100.8	103.0	103.7	102.4	103.4
東海	残留率	75.1	74.7	75.5	75.2	76.4	75.9	77.7	77.4	77.1	78.2
	指数	100.0	99.5	100.5	100.1	101.7	101.1	103.5	103.1	102.7	104.1
近畿	残留率	68.5	68.3	68.7	66.7	69.0	69.1	71.2	71.1	70.3	72.2
	指数	100.0	99.7	100.3	97.4	100.7	100.9	103.9	103.8	102.6	105.4
中国	残留率	64.3	63.7	62.8	61.2	64.1	65.4	66.6	68.6	67.9	65.0
	指数	100.0	99.1	97.7	95.2	99.7	101.7	103.6	106.7	105.6	101.1
四国	残留率	71.9	71.2	74.2	72.4	71.6	70.1	71.8	73.9	69.0	71.1
	指数	100.0	99.0	103.2	100.7	99.6	97.5	99.9	102.8	96.0	98.9
九州沖縄	残留率	75.2	75.0	75.4	76.8	76.8	77.0	76.0	77.4	77.2	76.3
	指数	100.0	99.7	100.3	102.1	102.1	102.4	101.1	102.9	102.7	101.5

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（全体：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2024年）

■ 大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（71.4%）、2位 東京（68.8%）、3位 福岡（65.9%）

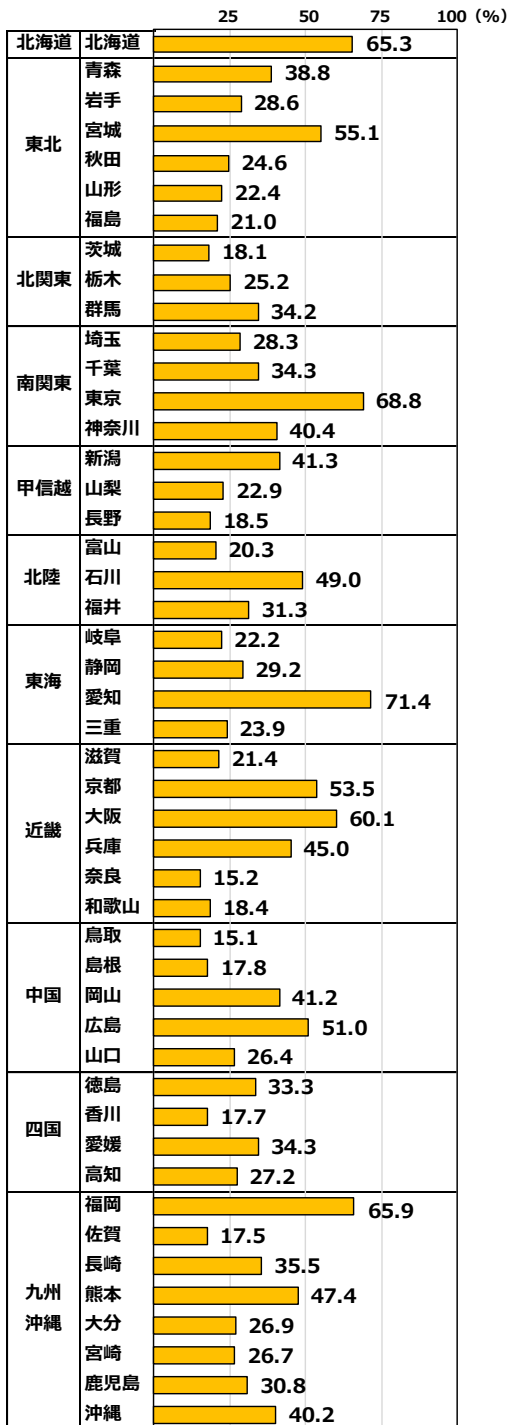
残留率が低いのは、1位 鳥取（15.1%）、2位 奈良（15.2%）、3位 佐賀（17.5%）

短期大学入学者地元残留率

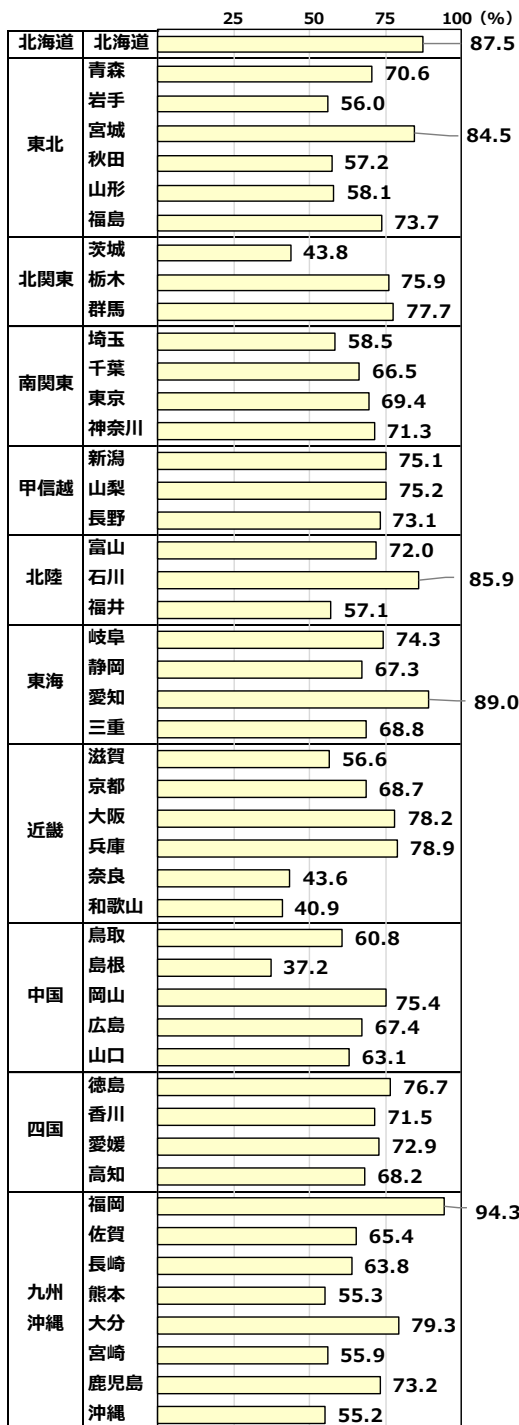
残留率が高いのは、1位 福岡（94.3%）、2位 愛知（89.0%）、3位 北海道（87.5%）

残留率が低いのは、1位 島根（37.2%）、2位 和歌山（40.9%）、3位 奈良（43.6%）

【大学入学者地元残留率：全体】



【短期大学入学者地元残留率：全体】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（男子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2024年）

■ 大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（67.4%）、2位 東京（65.8%）、3位 北海道（64.7%）

残留率が低いのは、1位 奈良・鳥取（12.8%）、3位 佐賀（14.3%）

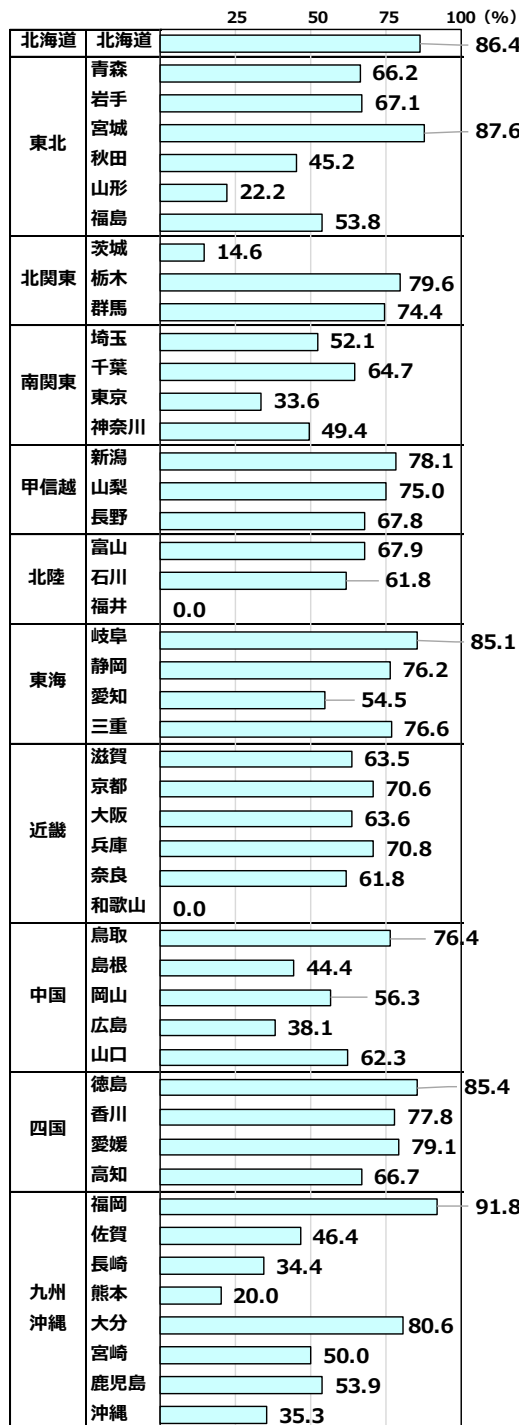
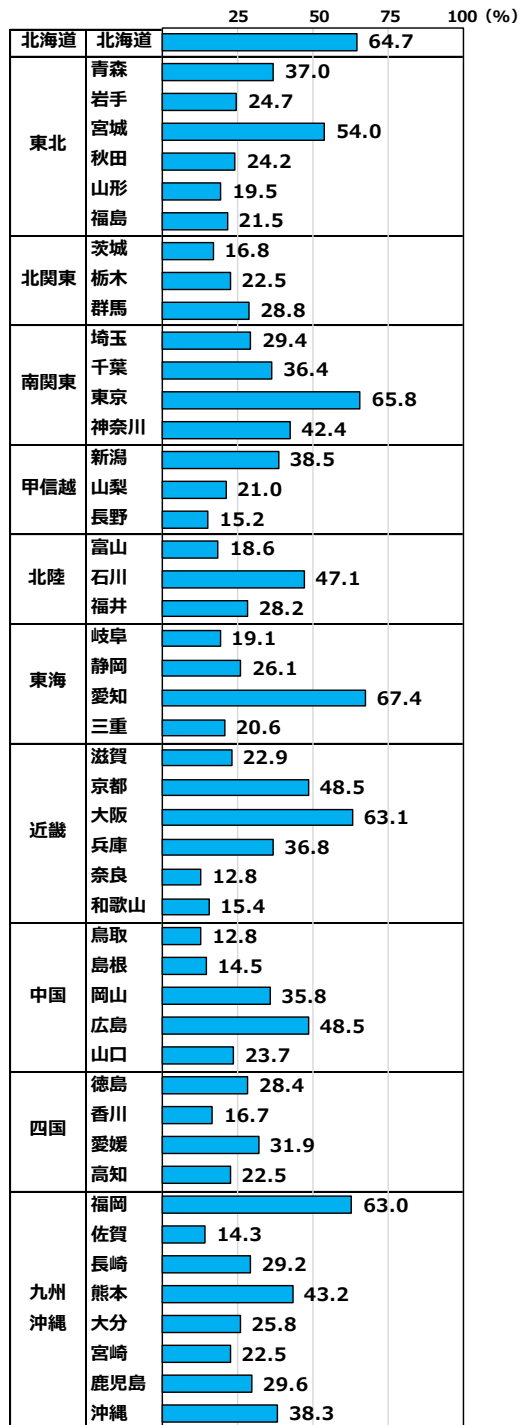
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 福岡（91.8%）、2位 宮城（87.6%）、3位 北海道（86.4%）

残留率が低いのは、1位 茨城（14.6%）、2位 熊本（20.0%）、3位 山形（22.2%）

【大学入学者地元残留率：男子】

【短期大学入学者地元残留率：男子】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（女子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2024年）

■ 大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

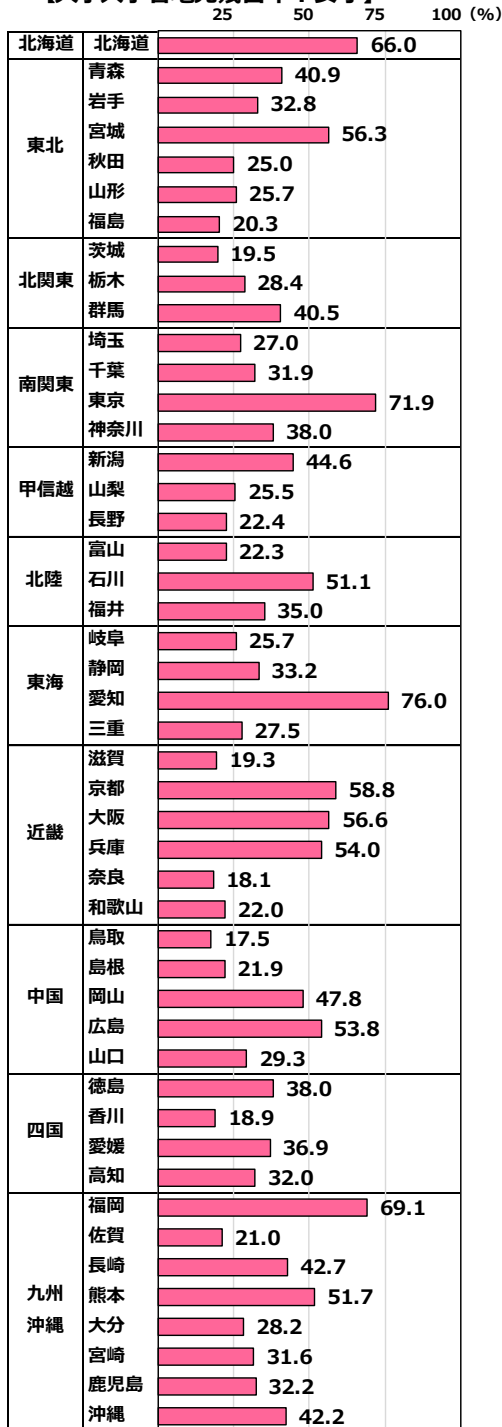
大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（76.0%）、2位 東京（71.9%）、3位 福岡（69.1%）
 残留率が低いのは、1位 鳥取（17.5%）、2位 奈良（18.1%）、3位 香川（18.9%）

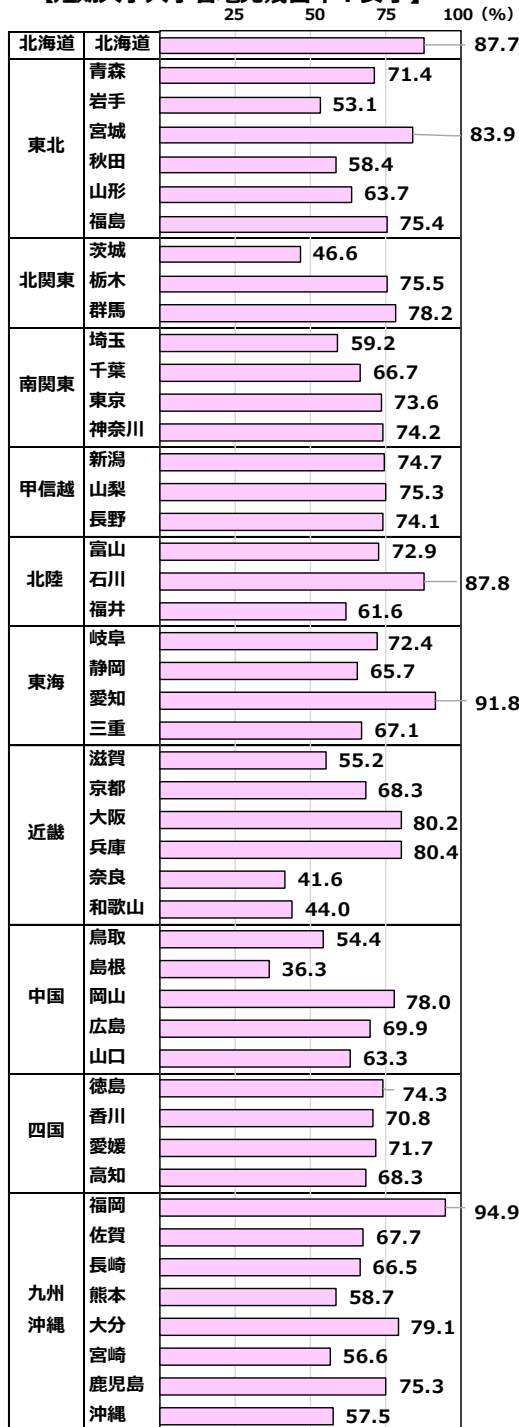
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 福岡（94.9%）、2位 愛知（91.8%）、3位 石川（87.8%）
 残留率が低いのは、1位 島根（36.3%）、2位 奈良（41.6%）、3位 和歌山（44.0%）

【大学入学者地元残留率：女子】



【短期大学入学者地元残留率：女子】

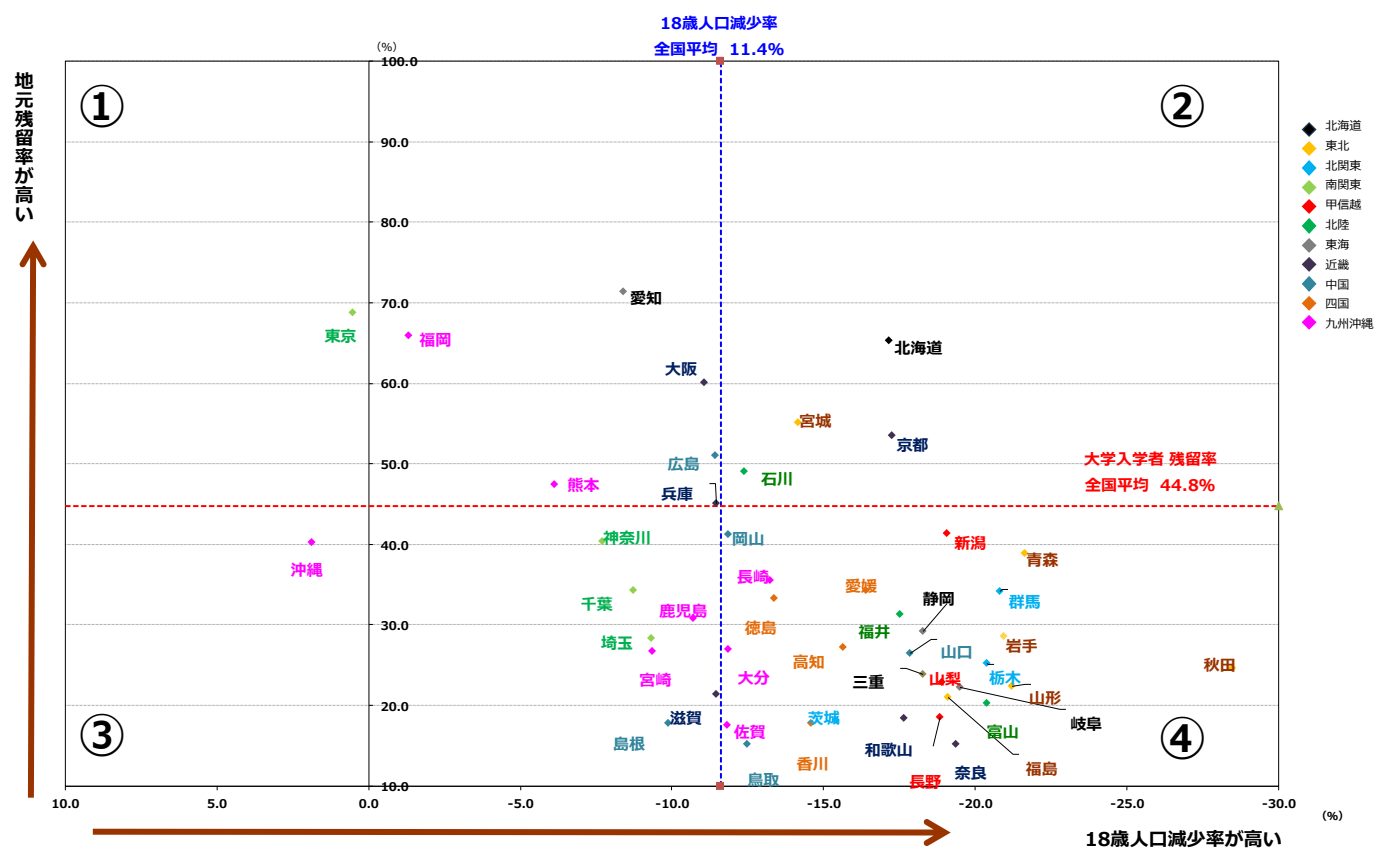


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■「象限④」(18歳人口減少率が高く地元残留率が低い)に多くの県が集まる

・全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。

- 象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い**
 : 東京、福岡、熊本、愛知、大阪、広島、兵庫
 →人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
- 象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い**
 : 北海道、京都、宮城、石川
 →18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
- 象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い**
 : 沖縄、神奈川、千葉、埼玉、宮崎、島根、鹿児島、滋賀
 →人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
- 象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い**
 : その他の県
 →人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。

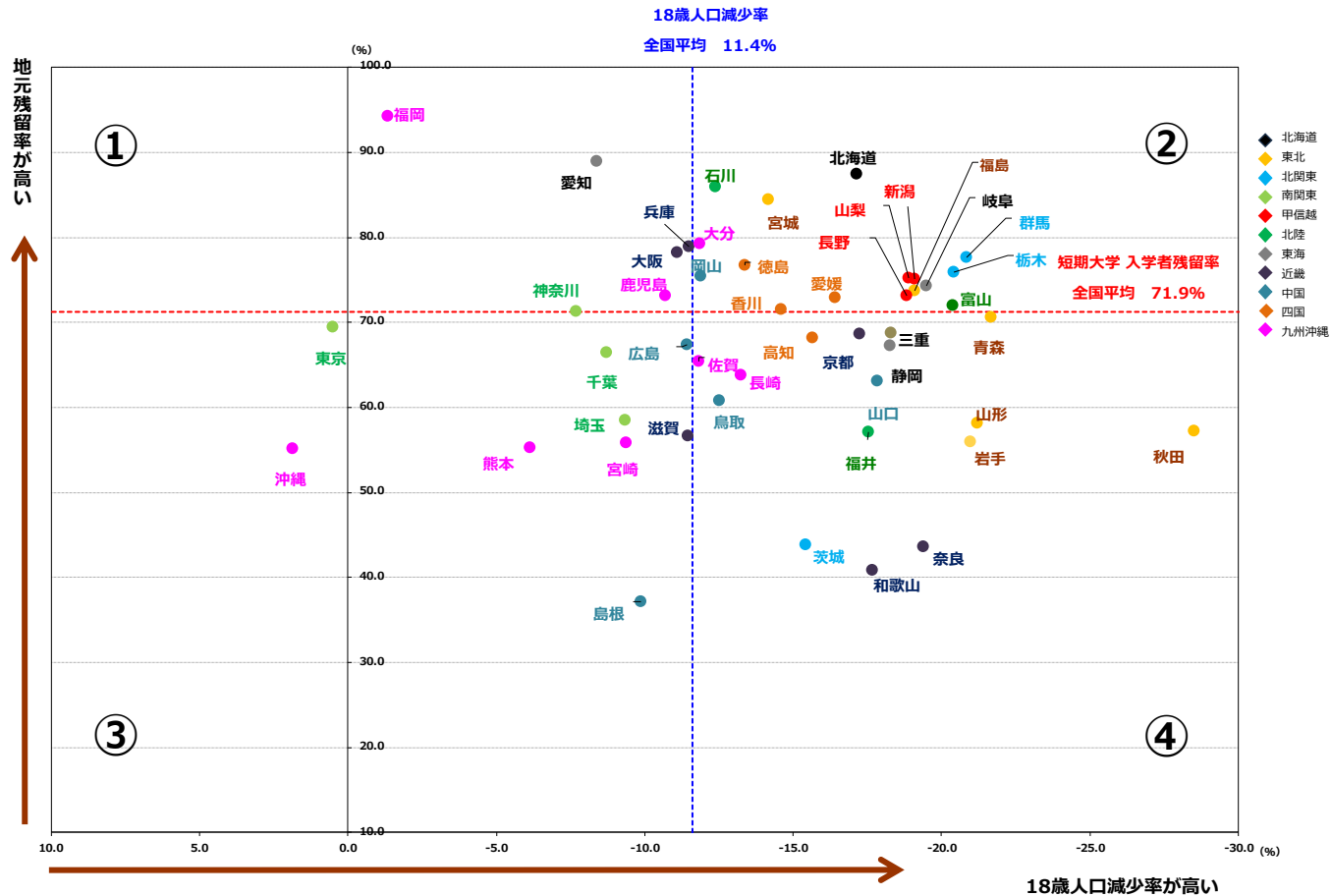


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■ 大学進学者と比較すると、地元に残留する傾向が強い

- ・ 短期大学の特性として比較的地元密着の傾向が強く、大学進学者と比較すると地元残留率の平均が27.1ポイント高い。
- ・ 全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。

- 象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い**
 : 福岡、神奈川、愛知、鹿児島、大阪、兵庫
 →人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
- 象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い**
 : 群馬、栃木、富山、岐阜、新潟、山梨、福島、長野、北海道、愛媛、香川、徳島、宮城、石川、岡山、大分
 →18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
- 象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い**
 : 沖縄、東京、熊本、千葉、宮崎、埼玉、島根、滋賀、広島
 →人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
- 象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い**
 : その他の府県
 →人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」